

令和元年度

教育委員会点検・評価報告書

令和2年8月

柳津町教育委員会



はじめに

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成して議会に提出するとともに公表することが義務付けられました。柳津町教育委員会は、平成20年度から、法改正の趣旨に基づき、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民の皆様に説明責任を果たすため、「柳津町教育委員会事務管理及び執行状況の点検・評価実施要綱」を定め、要綱に基づき教育委員会の点検・評価を実施し、その結果に関する報告書を議会に提出し、柳津町のホームページ等を通して公表しております。

令和元年度につきましても、第5次柳津町振興計画の基本目標（町のあるべき将来像）を「みんなが主役！笑顔広がる絆のまち！」を基本理念に、柳津町の教育目標を「一人ひとりの個性が輝くまちづくり」に設定し、5つの重点施策を積極的に推進してまいりました。そのことを踏まえ、22の基本事業ごとにそれぞれの施策、事務事業について点検・評価を実施し、その結果を報告書にまとめました。

点検・評価にあたっては、教育委員会の活動状況及び柳津町教育委員会重点施策の二つの面にしぼり、また、点検・評価に関する有識者は、教育に関し学識経験者を有する者の知見の活用を図るため、小中学校保護者及び教育関係者等の学識経験を有する方をお願いし、教育委員会が行った点検・評価の内容についてのご意見とご指導をいただきました。

令和2年度は第5次柳津町振興計画の最終年度でありますので、柳津町教育委員会では、町民の皆様から忌憚のないご意見をいただきながら、柳津町教育行政の一層の充実と発展に役立てていきたいと考えておりますので、今後とも町民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和2年8月

柳津町教育委員会

目 次

はじめに

I	教育委員会の活動状況	-----	1
II	教育委員会重点施策点検・評価一覧表	-----	6
III	各重点施策の点検・評価	-----	9
	① 生きる力を育む学校教育の充実		10
	② 郷土を愛する心を育む青少年の健全育成		32
	③ 生きがいを感じる生涯学習の推進		37
	④ 健康な生活をめざすスポーツ・レクリエーションの推進		40
	⑤ 地域の伝統文化の継承と文化財の保存		43
IV	点検・評価に関する有識者の意見	-----	48
	1 点検・評価に関する有識者名簿		
	2 点検・評価に関する有識者の意見		
	《 資 料 》		
	・ 柳津町教育委員会の点検・評価の概要	-----	51
	・ 柳津町教育委員会事務管理及び執行状況の		
	点検評価実施要綱	-----	52

I 教育委員会の活動状況

1 教育委員会委員

職名	氏名	備考
教育長	神田 順一	就任：令和元年10月1日から 退任：令和4年9月30日まで
職務代理者	鈴木 礼	就任：平成28年10月1日から 任期：令和2年9月30日まで
委員	鈴木 亘	就任：令和元年10月1日から 任期：令和5年9月30日まで
委員	二瓶 伸博	就任：平成29年11月6日から 任期：令和3年9月30日まで
委員	天野 百合子	就任：平成30年4月1日から 任期：令和4年9月30日まで

2 教育委員会の開催状況

- 定例会 12回
- 臨時会 2回

3 教育委員会での審議（協議）内容

【定例会】

月日	回数	主な審議（協議）内容
4/26	1	・教育長業務報告及び提案（町教育行政の執行にあたって、町校長会の事業計画や教職員の配置状況、予想される主な協議内容等）について
5/28	2	・教育長業務報告及び提案（柳津町小・中学校経営状況及び経営全般の反省、生涯スポーツ推進にかかる検討計画等）について ・6月定例議会に提案する補正予算について議案提出 ・総合教育会議の実施（開催月日等の確定）に及び教育大綱の見直しについて協議
6/28	3	・教育長業務報告及び提案（柳津町小・中学校経営状況及び経営全般の反省、6月定例議会一般質問について報告、及び7月の事業計画報告等）について ・平成30年度柳津町教育委員会点検・評価報告について議案提出 ・令和2年度使用教科書の採択について（小学校中心に）
7/26	4	・教育長及び業務報告（柳津町小・中学校経営状況、及び経営全般の反省等）について ・令和2年度使用小学校教科用図書の採択について議案提出

8/27	5	<ul style="list-style-type: none"> ・教育長及び業務報告と提案（柳津町小・中学校経営状況、及び経営全般の反省、子ども議会の取組と開催、全国学力・学習状況調査結果、美術館の取組、公民館事業の取組等）について ・9月定例議会に提案する補正予算について議案提出 ・柳津町学校事務の共同・連携実施要綱の制定について
9/27	6	<ul style="list-style-type: none"> ・教育長及び業務報告と提案（柳津町小・中学校経営状況、及び経営全般の反省、9月定例議会内容(一般質問・補正・教育委員会委員任命同意)報告、子ども議会の開催結果等）について ・柳津町教育長職務代理者の指名について議案提出
10/29	7	<ul style="list-style-type: none"> ・教育長及び業務報告と提案（柳津町小・中学校経営状況、及び経営全般の反省、自治功労表彰候補者の確認、教育行政の上半期進捗状況等）について ・台風19号の被害等について（水道水に濁りが発生したため、10/15～10/18までの4日間給食を停止。）
11/27	8	<ul style="list-style-type: none"> ・教育長及び業務報告と提案（柳津町小・中学校経営状況、及び経営全般の反省、令和2年度の重点事業と予算編成、町教育ビジョンの実現に向けた体制づくりの推進、教育用整備推進(ICT環境整備・新学習指導要領への移行等)について ・12月定例議会に提案する補正予算について議案提出
12/26	9	<ul style="list-style-type: none"> ・教育長業務報告及び提案（柳津町小・中学校経営状況、及び経営全般の反省、12月定例議会内容(一般質問・補正予算等)について) ・教職員人事について
1/28	10	<ul style="list-style-type: none"> ・教育長業務報告及び提案（柳津町小・中学校経営状況及び経営全般の反省、令和2年度当初予算について、教職員の人事配置と課題等)について
2/28	11	<ul style="list-style-type: none"> ・教育長業務報告及び提案（柳津町小・中学校経営状況、及び経営全般の反省、令和2年度当初予算について、教職員の人事配置と課題等)について ・新型コロナウイルス感染症への対応について協議 ・令和元年度補正予算(案)及び令和2年度当初予算(案)についての協議 ・柳津町男女共同参画計画(案)についての協議
3/26	12	<ul style="list-style-type: none"> ・教育長業務報告及び提案（柳津町小・中学校経営状況、及び経営全般の反省、3月定例議会内容(町長施策方針・一般質問・補正・当初予算)、教職員の人事、高校入試結果等)について

		<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症への対応について協議 ・指示伝達事項▶人事異動(町転入出・退職教員)該当者について 次年度の柳津町学校教育構想について 本年度の教育委員会点検評価について 本年度の教育課程実施状況について
--	--	--

【臨時会】

月 日	回数	主 な 審 議 (協 議) 内 容
7/18	1	令和2年度小学校の教科書用図表の採択について
3/5	2	柳津町立学校教職員の人事異動、教育長の辞職の同意について

4 教育委員会委員の主な活動 (学校行事・研修、生涯学習関係行事等)

月	日	主 な 活 動	委員参加人数
4	3	新任教職員歓迎披露式	5
	8	各小学校、会津柳津学園中学校入学式	5
5	8	柳津町教育研究会総会	3
	10	柳津町PTA連絡協議会総会	3
	18	各小学校運動会	5
	30	両沼教育委員会連絡協議会春季総会	4
6	28	総合教育会議	5
7	1	社会を明るくする運動駅前広報	5
	5	東北六県教育委員会連絡協議会研修(郡山市)	4
	24	町小学校水泳記録会	3
	25	県市町村教育委員会連絡協議会会津ブロック研修	3
8	15	成人式	5
	27	県市町村教育委員会連絡協議会教育長等研修	4
10	2	町小学校陸上記録会	4
	19	会津柳津学園中学校文化祭(柳輝祭)	5
	26	柳津小秋祭り・西山小きらきらフェスタ	4
	29	両沼教育委員会連絡協議会秋季総会	5
11	3	町自治功労者表彰式、町文化祭	5
	17	ふくしま駅伝競走大会	3
1	9	柳津町PTA連絡協議会新年会	4
3	13	中学校卒業式	5
	23	小学校卒業式	5
	26	教職員離任式	5

5 教育委員会活動の主な事業の情報発信

◆ 町広報誌「広報やないづ」に教育委員会主催行事等を掲載

○令和元年度(平成31年度)「広報やないづ」

- ・4月号 > 柳津・西山小学校、会津柳津学園中学校卒業式
柳津・西山小学校 小学校6年生を送る会・鼓笛移杖式
西山小学校 なわとび記録会

- ・12月号 > 柳津小学校秋祭り、西山小学校きらきらフェスタ
会津柳津学園中学校文化祭(柳輝祭)
会津柳津学園中学校・校内記録会

◆ 「やないづ教育ねっと」に各種情報を掲載

Ⅱ 教育委員会重点施策点検・評価一覧表

II 柳津町教育委員会重点施策点検・評価一覧表

重点施策	基本事業	主な事務事業	達成度	事務担当班
生きる力を育む学校教育の充実	1 確かな学力の向上	「学力向上グランドデザイン」による学習指導 柳津町学力向上推進事業(町教研への委託) 柳津町教育研究会の活動 全国標準学力検査、国・県学力実態調査の実施	B	学校教育班
	2 健やかな体の育成	学校保健体育、部活動の指導 食育計画の作成と指導 全国体力テストの実施	B	
	3 豊かな心の育成	道徳教育・特別活動における指導 体験的活動・ボランティア活動の重視 学校図書 of 整備と読書活動の推進 いじめ、問題行動等の早期発見、早期対応	A	
	4 特別支援教育の充実	校内就学指導委員会の開催 特別支援学級の整備 教育支援委員会との連携した指導	A	
	5 小中連携教育の推進	小・中学校間連携教育の推進	B	
	6 情報教育・国際理解教育の充実	学校教育用パソコン等ICT整備事業 外国青年(英語指導助手)招致事業 英語科の実施へ向けた校内体制の充実	B	
	7 教育環境・条件の整備充実	学校施設等改修整備事業 教材教具整備事業 就学援助事業 児童生徒通学費補助事業 教員住宅管理事業 スクールバス運行事業 特別支援教員等の配置 給食費補助事業	B	
郷土を愛する心を育む青少年の健全育成	1 郷土を愛する心の育成	児童生徒の地域行事への参加促進 青少年の主張発表大会の開催 青少年育成町民会議運営事業 成人式の開催 中学生海外派遣事業「ふれあいの翼」	B	生涯学習班
	2 家庭教育の充実	家庭教育講座の開催	A	
	3 学校教育と社会教育の連携・融合	子どもチャレンジ事業 スポーツ少年団活動	A	
	4 子どもの居場所づくり	放課後子ども教室推進事業	A	
	5 防犯ボランティアの活用	見守りボランティア会議の開催 見守りボランティア活動の支援	B	学校教育班

達成度 A=十分に達成 B=ほぼ達成 C=やや不十分 D=不十分

生きがいを感じる生涯学習の推進	1 生涯学習推進体制の整備 充実	社会教育委員会の開催 各機関団体連絡協議会の開催 柳津婦人会運営補助事業	A	生涯 学習班
	2 多様なニーズに応える学習 機会の充実	高齢者学級「福寿学園」「養寿学園」の開催 成人学級「悠友倶楽部」の開催 伝統工芸教室の開催 料理教室の開催	A	
	3 生涯学習施設・設備の整備 充実	活性化施設「ふれあい館」管理運営事業 図書館整備事業 地区集会所施設の整備補助事業	A	
健康な生活をめざすスポーツ・レクリエーションの推進	1 生涯スポーツの意識啓発と スポーツ活動の充実	各種町民スポーツ大会等の開催 県総体県民スポーツ大会への参加 ふくしま駅伝競走大会への参加 市町村対抗軟式野球大会・ソフトボール大会への参加 町体育協会運営補助事業 スポーツ推進委員会の開催と活動	A	生涯 学習班
	2 総合型地域スポーツクラブ の充実	赤ベクトータルスポーツの活動支援 赤ベクトータルスポーツの運営支援	A	
	3 スポーツ施設・設備の整備 充実	運動公園施設整備事業 B&G指導者育成事業	A	
地域の伝統行事と 伝統文化の継承と 文化財の保存	1 町民の文化活動の充実	文化協会、各種文化団体の活動 柳津町文化祭の開催	A	生涯 学習班
	2 地域の伝統行事と伝統文化の継承	地域伝統文化団体の育成と支援	A	
	3 やないづ町立斎藤清美術 館の充実	斎藤清展事業【企画展等の実施】 県外斎藤清展推進事業 潜在的アートP事業、地域アートP事業 作品等収集事業	B	美術館 班
	4 文化財の保存と活用	町文化財保護審議会の開催 町指定文化財管理事業 天然記念物カモシカ処理事業 文化財火災防御訓練の実施	A	生涯 学習班

達成度 A=十分に達成 B=ほぼ達成 C=やや不十分 D=不十分

Ⅲ 各重点施策の点検・評価

[生きる力を育む学校教育の充実]

基本事業		1 確かな学力の向上	
取組の状況	町内各校において次の指導や活動・事業を実施した (1) 「学力向上グランドデザイン」による学習指導 (2) 柳津町学力向上推進事業 (町教研への委託) (3) 全国標準学力検査、国・県学力実態調査の実施		
成果と評価	柳津小 B 西山小 B 柳学中 B		全体としての達成度
			B
次年度への課題	町全体としては ・「主体的・対話的で深い学び」を意識した授業を積み重ねて、知識や技能の定着とともに思考力・判断力・表現力の向上をめざすよう指導助言する。 ・標準学力検査の目標値を全国平均に近づけることができるように、個に応じた補完指導を丁寧に行うよう参観等で確認する。		

達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分

基本事業		2 健やかな体の育成	
取組の状況	町内各校において次の指導や活動・事業を実施した (1) 学校保健体育、部活動の指導 (2) 食育計画の作成と指導 (3) 全国体力テストの実施 教育委員会において次の指導や活動・事業を実施した (1) 学校給食運営協議会の開催 ○ 年2回の開催 (5月25日、3月27日) ○ 予算・決算、食育計画等の協議 ※ 三島町と共同で行う学校給食運営の開始		
成果と評価	柳津小 B 西山小 B 柳学中 B		全体としての達成度
			B
次年度への課題	町全体としては ・新体力テストの結果をふまえて、授業や日課表に位置付けた活動の充実のため、小学校体育アドバイザー等の活用を助言する。 ・学校栄養職員による食育を、授業や給食の時間に実施する。 ・保護者の理解のもと、中学校の部活動の限られた条件での充実等について指導助言する。		

達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分

基本事業		3 豊かな心の育成
取組の状況	町内各校において次の指導や活動・事業を実施した (1) 道徳教育・特別活動における指導 (2) 体験的活動、ボランティア活動の重視 (3) 学校図書の整備と読書活動の推進 (4) いじめ、問題行動の早期発見、早期対応	
成果と評価	柳津小 A 西山小 A 柳学中 A	全体としての達成度
		A
次年度への課題	町全体としては ・教科化された道徳の授業及び評価のあり方に関する研修を、学校の計画に沿って支援する。 ・警察等関係機関へ講師の派遣依頼を行い、各学校のSNSに関する指導を充実させる。	

達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分

基本事業		4 特別支援教育の充実
取組の状況	特別支援学級の整備及び取組の状況等 【 柳津小における状況は 別紙 P14～ 】 【 西山小における状況は 別紙 P20～ 】 【 柳学中における状況は 別紙 P26～ 】	
成果と評価	全体としての達成度	A
次年度への課題	町全体としては ・保育所等と連携して、個別の支援が必要な可能性がある子供の早期確認に努める。 ・設置した特別支援学級の小・中及び通常学級との連携のあり方等について指導助言する。また、必要に応じて、特別支援学校へつなぐ。	

達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分

基本事業		5 小中学校間連携教育の推進	
取組の状況	町内各校において次の指導や活動・事業を実施した (1) 小中学校間連携教育の推進		
成果と評価	柳津小 B 西山小 B 柳学中 A		全体としての達成度
			B
次年度への課題	町全体としては ・学校行事のみでなく、授業実践に関する小中、小中の連携を具体化するよう、学校教育アドバイザーを中心に指導助言に当たる。 ・保小連携のための職員・教員の交流の機会（相互訪問等）を積極的に設ける。		

達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分

基本事業		6 情報教育・国際理解教育の充実	
取組の状況	町教育委員会において次の事業を実施した。 (1) 学校教育用パソコン等ICT整備事業 (2) 外国青年（英語指導助手）招致事業 (3) 英語科の実施へ向けた校内体制の充実		
成果と評価	柳津小 B 西山小 B 柳学中 B		全体としての達成度
			B
次年度への課題	町全体としては ・次年度からの小学校での外国語科の実施に向けて、町内で小・中相互の授業参観や研修の実施を支援する。 ・各学校でのICT機器の授業での活用の効果について確認して、今後の整備方針・内容等を策定する。		

達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分

基 本 事 業	1 確かな学力の向上	
取組の状況	<p>(1) 「学力向上グランドデザイン」による学習指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 町赤べこプランを周知し、自校のプランの見直し、共通実践 ○ 職員全員でのわかる・できることをめざす授業の実践 <ul style="list-style-type: none"> ・学習内容が分かるめあての設定とまとめの時間の確保 ・学習内容の確認と補充指導 ・TT指導や単元の最後に復習の時間の確保 ・單元ごとの定着の確認と補充（單元テスト、定着確認シート） ・ICT機器の効果的な活用 ○ 読書量の増加 <ul style="list-style-type: none"> ・「家読」の推進と読書タイムの設定 ・読み聞かせボランティア、中学生読み聞かせの実施による読書意欲の高揚 ○ 学習の環境作り <ul style="list-style-type: none"> ・「学習の約束」の掲示と活用、学期ごとの自己評価 ・「学習コーナー」の設置と学習履歴の掲示 ○ 家庭学習の習慣化 <ul style="list-style-type: none"> ・「家庭学習の手引き」「家庭学習スタンダード」の活用と保護者との連携 ・メディアコントロール週間の設定や自主学習の習慣化 <p>(2) 柳津町学力向上推進事業（町教研への委託）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「主体的・対話的に学ぶ児童の育成」を目指した校内研修の充実 ○ 赤べこプランの確実な実施 <p>(3) 全国標準学力検査、国・県学力実態調査の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 国・県学力調査の結果分析による課題の把握と個に応じた補充指導 ○ 全国標準学力検査の結果分析と補充指導、学力向上学年プラン（国・算）の設定 ○ 育成力活用シート・フォローアップシートの活用 	
成果と評価	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学力向上グランドデザイン」による学習指導 <ul style="list-style-type: none"> 「分かった・できた」と自信をもって言える児童の育成をめざし、授業では、めあてやねらいを明確にするとともに、授業の終末に学習したことを振り返る時間を確保した。また、ICT機器の効果的な活用を図ってきた。 ○ 校長、教頭、教務や支援員によるTT指導や取出し指導により、つまづき克服のための個別指導に重点をおいて指導した。家庭学習の手引きを配付し家庭と連携し家庭学習の習慣化を図った。 ○ 今年度より本格導入されたICT機器を効果的に活用して、児童の深い学びを実現することができるよう努めてきた。 ○ 全国標準学力検査の結果を分析し本校の課題を明確にし、補充指導に生かすとともに、各学年の国・算プランの設定に生かすことができた。 ○ 「授業スタンダード」「家庭学習スタンダード」の活用を図り、授業の改善と自己マネジメント力の育成を図ってきた。 	<p>達成度</p> <p style="text-align: center; font-size: 2em;">B</p>
次年度への課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全国標準学力検査の結果を踏まえ、TTによる指導や支援員の活用等により個に応じたきめ細やかな指導を一層充実させ学力の向上を図る。特にアンダーアチーバーの減少に力を入れていきたい。 ○ 定着確認シートやフォローアップシートなど効果的に活用し、基礎学力の確かな定着に努めたい。単位時間の学びを活用できる時間を設定していく。 ○ 家庭学習や自主学習の取り組み方について、今後も家庭との連携を密にしてよりよい方向に改善していきたい。 ○ ふくしま学力調査へのきめ細やかな対応、春休み中の課題、実施後の結果分析、学校としての課題解決策の策定等を組織的に行っていく。 	
<p>達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分</p>		

①【生きる力を育む学校教育の充実】

(学校名 柳津小学校)

基本事業	2 健やかな体の育成	
取組の状況	<p>(1) 学校保健体育、部活動の指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 運動への意欲や技能を高める指導の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・「運動身体作りプログラム」を取り入れた授業実践 ・朝のマラソンや縄跳びの奨励 ○ 町小学校水泳記録会や町陸上記録会へ向けての教科体育、課外練習の充実 ○ 外部人材の活用(体育アドバイザー、中学校教諭等による指導) ○ う歯の治療率を高めるための保護者との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・歯磨きカレンダー、カラーテスターの実践 ・保護者への啓発 ○ 肥満傾向児童への個別支援と外部機関との連携(個別指導・体組成検査) ○ 町小・中学校合同による学校保健委員会の実施 <p>(2) 食育計画の作成と指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「朝食摂取率100%週間」運動の実施 ○ 「わたしが作る朝ご飯コンテスト」への応募 ○ 「全国学校給食週間」での取り組み <ul style="list-style-type: none"> ・「給食の歴史」の紹介、特別献立の実施など ○ 「自分で作るお弁当の日」(年2回)の実施 <p>(3) 全国体力テストの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 新体力テストの結果分析と体力向上推進計画を踏まえた指導の充実 	
成果と評価	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「運動身体作りプログラム」を授業に取り入れて実践できた。 ○ 町小学校水泳・陸上記録会では、児童が自己のめあてを持って意欲的に練習に取り組み、成果を上げることができた。 ○ 体育アドバイザーの活用や特別非常勤講師による表現活動(ダンス)を実施できた。 ○ 栄養技師と連携しながら食育指導について継続的に取り組んできた。食べ方や偏食について指導し、少しずつ改善が見られるようになった。 ○ 「自分で作るお弁当の日」を実施した結果、家族と一緒に意欲をもって楽しんで作る児童が多くなってきた。 ○ 体力テスト結果を分析し、教科体育の指導に生かすことができた。 	<p>達成度</p> <p style="text-align: center; font-size: 2em;">B</p>
次年度への課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新体力テストの結果をもとに本校の課題を分析し、体力向上推進計画を基にして重点的な指導に努めるとともに、教育課程の編成に活かすように努めたい。 ○ 教科体育の充実を核とし、他の体育に関する指導との関連を図りながら、継続的に体力・運動能力の向上に努めたい。 ○ 栄養技師との連携を図った食育に関する授業実践を進めたい。 ○ 肥満傾向をもつ児童や、偏食が見られる児童については、学校における食育及び給食指導をはじめ、家庭との連携を図りながら継続的に指導していきたい。 ○ 日課表に業間マラソン(冬期間はなわとび)を位置づけ、体を動かす機会を増やし体力や運動能力を高めたい。また、本校の課題を改善に向け体力向上推進計画を全職員で共通理解し共通実践していく。 	

達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分

①【生きる力を育む学校教育の充実】

(学校名 柳津小学校)

基本事業	3 豊かな心の育成	
取組の状況	<p>(1) 道徳教育、特別活動における指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 道徳の時間を充実と道徳的実践力の向上 ○ 道徳教育指導内容の日常生活での活用 ○ 自主的・自律的な態度並びに互いに賞賛し合える態度の育成 ○ 自己理解の推進と自己存在感や成就感の高揚 ○ 「特別の教科道徳」の校内研修の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・教育課程、別葉の作成 ・評価の研究 <p>(2) 体験的活動、ボランティア活動の重視</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 高齢者福祉施設への訪問と交流活動の充実 ○ 米づくり体験活動(4・5年) ※地主さん、JA、農青連の協力 ○ 森林環境学習(全学年) ※町農林振興班の協力 ○ 合同宿泊学習(5年)、合同修学旅行(6年) ○ 各教科、総合的な学習、生活科における体験的活動(各学年) <ul style="list-style-type: none"> ・町の観光、歴史、町探検、見学、調査等 ・西山小との交流学习の充実 ○ 学校支援コーディネーターとの連携 <p>(3) 学校図書整備と読書活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 年間を通じた読書活動の推進(家読の推奨) ○ 各学年月1回の読み聞かせの実施(町読み聞かせボランティアの活用) ○ 図書室の整備と図書館司書との連携による読書意欲の喚起 <p>(4) いじめ、問題行動の早期発見、早期対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教育相談(児童年3回、保護者年1回)といじめアンケートの実施 ○ QUを活用した実態把握と課題に基づく指導・人間関係の改善 ○ SC、SSW等の外部機関との連携 	
成果と評価	<ul style="list-style-type: none"> ○ ねらいを明確にして各種行事や体験活動を実施することにより、子ども達に達成感や充実感をもたせることができた。 ○ 柳小秋まつりでは、日頃の学習の成果を発表したり、農園活動での感謝の心を伝えたりすることができた。 ○ 高齢者福祉施設でのボランティア活動やふれあい活動を通して、高齢者施設の様子や福祉の大切さ、ふれあいの大切さ等を実感することができた。 ○ 中学生の読書ボランティアによる読み聞かせを通して、児童の読書意欲を高めることができた。 ○ いじめ問題の早期発見と早期対応について、共通理解を図りながら組織として取り組むことができた。 ○ QUを活用し、児童の人間関係や課題を把握することができた。 	<p>達成度</p> <p style="text-align: center;">A</p>
次年度への課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 町学校支援事業を活用し、地域コーディネーターと連携を図る。また、地域素材を活用して児童の体験を深めるとともに、地域人材の活用に努めたい。 ○ 図書館司書を中心に、読書活動をより一層推進するとともに、図書室の効果的な活用を学校全体で図っていく。 ○ メディアコントロール週間など、家庭、地域との連携をより密に図りながら児童を取り巻く現代的な課題の解決をめざしていくとともに、保護者への啓発を継続して図る。 ○ 児童の実態に応じて「学校いじめ防止基本方針」を見直し、学級力の向上、固定化した人間関係の改善等を組織的に行い、積極的な生徒指導の充実を図る。 	

達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分

①【生きる力を育む学校教育の充実】

(学校名 柳津小学校)

基本事業	4 特別支援教育の充実	
取組の状況	<p>(1) 教育支援委員会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 特別支援学級の在籍児童及び次年度特別支援学級入級希望者の情報提供 ○ 各児童の情報及び専門委員による観察結果をもとにした就学に係る審議 <ul style="list-style-type: none"> ・在籍児童（自閉・情緒障がい学級）… 5学年男児 1名 （知的障がい学級）… 2学年 男児1名、2学年 男児1名 ○ 特別支援教育委員会の定期的な開催と特別な支援を要する児童の支援状況についての共通理解 <p>(2) 特別支援学級の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 障がいを持つ児童に対する指導支援 <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学級担任を中心とした交流学級との学習・生活の交流 ○ 外部機関や保護者との連携・協議 <ul style="list-style-type: none"> ・保育所、町教育支援委員会、医療機関との連携 ・保護者との懇談と共通理解 ・実態に応じた教育課程の編成 <p>(3) 柳津保育所との連携した指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 保育参観を通して入学児童の理解 ○ 園児・保護者等との情報交換 <p>(4) 町教育支援委員会との協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 積極的な情報の提供と共有 ○ 指導事項を踏まえた校内指導の充実 	
成果と評価	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教育支援員が通常学級における特別な支援を要する児童の指導支援に当たることにより、児童一人一人のニーズに応じたきめ細かな 指導支援や担任のサポートを行うことができた。 ○ 複数の通常学級に在籍する特別な支援を要する児童に対し、担任外教員や特別支援学級担任が適宜支援を行うことができた。 ○ 校内特別支援・就学指導委員会を定期的にはいるが形骸化が見られる。児童・保護者・担任の困り感を基に、具体的な体制作りや支援方法をコーディネーターを中心として考える必要があった。また、町教育支援委員会や就学児童に関する保育所との情報交換についても改善を加えたい。 	<p>達成度</p> <p style="text-align: center;">B</p>
次年度への課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 個別の指導計画や支援計画に基づき、計画的な指導・支援を行うとともに記録簿を作成し累積する。定期的なケース会議を開催し、児童の状況を客観的に把握し、指導・支援の改善を図るようにする。 ○ 必要に応じてSSW、SC、町保健師、養護学校、会津教育事務所、医療機関などの関係機関との連携を図り、適切な就学指導に努める。 ○ 担任と支援員との打合せ時間を確保し、連携を図って指導支援に当たっていく。 ○ 通常学級に在籍する特別な支援を要する児童へ対しての取り出し指導の時間・方法等の充実を図り、組織的な取組ができるようにする。 ○ 保育所との連携をさらに図り、就学前の情報交換を行い、切れ目のない一貫した指導の充実を図ることができるようにする。 	

達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分

①【生きる力を育む学校教育の充実】

(学校名 柳津小学校)

基本事業	5 小中学校間連携教育の推進	
取組の状況	<p>(1) 小・中学校間連携教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 小中連携授業参観の実施 (現職教育研究授業を通して) ○ 小中連携協議会実施 (年1回) ○ 中学生による小学1・2年生への読み聞かせ教室 (年1回) ○ 中学生による小学3～6年生への学習ボランティア活動の実施 (算数科 年1回) ○ 小学6年生の中学校体験学習の実施 (年1回) ○ 合同避難訓練の実施 (年1回) ○ 町教研英語教育推進部主催による授業実践と参観 <p>(2) 小・小学校間連携教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 修学旅行事前学習会 (2回) ○ 合同修学旅行 ○ 宿泊学習事前学習会 (2回) ○ 合同宿泊学習 ○ 交流学習会 (1～6年各2回) ○ 町水泳記録会、町陸上記録会 	
成果と評価	<ul style="list-style-type: none"> ○ 西山小学校、会津柳津学園中学校のそれぞれの授業を参観し合うことができ、児童生徒の実態を把握したり、職員の指導力向上を図ったりすることができた。小学校・中学校の学習の円滑な移行を実現することができた。 ○ 各校の校長・教頭・教務主任・研修主任・生徒指導主事・養護教諭による小中9年間を通じた系統的・継続的な学習指導・生徒指導・健康指導についての協議を通して、共通理解を図り、課題解決に向けて同一歩調で取り組むことができた。 ○ 会津柳津学園中学校1、2年生による柳津小学校3～6年の学習支援活動は、児童・生徒とも良い刺激となり、自己の学習について振り返る良い機会となった。 	<p>達成度</p> <p>B</p>
次年度への課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小中連携については、次年度もお互いに連絡を取り合って、校内授業研究会の授業参観、学習ボランティア、読み聞かせ、奉仕作業など今年度の取り組みに改善を加え、より教育効果を高められるよう具体的な手立てを講じる。 ○ 西山小学校との交流については、中学校への進学に向けてスムーズな学校生活を実施するために今後とも充実させていく。また、保育所との交流・連携を可能な範囲で継続し、小1プロブレムの解消に努めていく。 ○ 5、6年生が参加する町水泳記録会、町陸上記録会については、坂下地区との実施や西部3町村との実施等、近隣地域との連携によって実施していくことも検討したい。 ○ 小中連携の推進を唱えてはいるが、校庭等の施設管理・安全管理の分担がきわめて不明確である。共に活用するのであれば、双方の分担を明確にして責任ある管理を行いたい。また、小中で児童生徒並びに職員による除草活動など、環境美化活動を定期的に関催していきたい。 ○ 児童生徒の減少により高学年の児童のいない班も出始めている。安全な登下校、地区での生活等に配慮して、合同での登校、小中PTA合同での地区安全点検、さらに町関係団体を含めた点検等も実施できればよい。 	

達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分

①【生きる力を育む学校教育の充実】

(学校名 柳津小学校)

基本事業	6 情報教育・国際理解教育の充実	
取組の状況	<p>(1) 学校教育用パソコン等ICT整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ICT機器の効果的な活用と授業の充実・改善 ○ 電子黒板とデジタル教科書、並びにiPadの導入により学習の効率化 ○ ICT機器の活用を通して、児童一人ひとりの習熟度や学習速度に応じたきめ細やかな指導の充実 ○ iPadの活用に向けた校内研修の実施と授業での積極的な活用 ○ 関係機関との連携による次年度の活用へ向けた環境整備と計画の立案 ○ ICT支援員の指導による授業内容に応じた具体的な校内研修 <p>(2) 外国青年（英語指導助手）招致事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 英語指導助手を導入した外国語活動の授業の充実 ○ 外国の文化、生活に触れる体験活動の実施 ○ 英語科の実施へ向けた校内体制の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 先進校の視察 ・ 中学校との連携した取り組みと職員の指導力の向上 ・ 教育課程の編成 	
成果と評価	<ul style="list-style-type: none"> ○ ICT機器を学習に効果的に活用することで、論理的な思考力、表現力を高めるとともに 学びの共有を図ることができた。 ○ デジタル教科書を利用することにより、学習意欲を高めるとともに効率的効果的な学習指導を進めることができた。 	達成度
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 英語指導助手を活用したことにより、発音やイントネーションなどを生の音声英語に触れながら学ぶことができた。 ○ 英語指導助手との触れ合いは、母国での生活の様子など、外国の文化を理解する良い機会となった。 ○ iPadを活用したドリル学習により、個に応じた学習指導、学習速度や習熟等に応じたきめ細かな指導の充実が図ることができた。 ○ 児童の思考を集約して比較検討を図ったり、授業のコーディネートに活用したりすることが可能となり効率化が図ることができた。 	B
次年度の課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ iPad、電子黒板を有効に活用するための教員研修を実施し、授業の中でICT機器をより効果的・積極的に活用できるようにする。 ○ 毎時間の外国語活動の指導内容や方法について、英語指導助手と担任で連絡を密に取り合って、児童への指導の効果が上がるようにしていく。 ○ 英語科実施へ向け、さらに教員の指導力の向上を図る。 ○ プログラミング教育の全体計画をもとに各学年での教科・単元での実践記録を累積し、次年度への向けた組織的な取り組みができるように推進していく。 	

達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分

基 本 事 業		1 確かな学力の向上
取組の状況	<p>(1) 「学力向上グランドデザイン」による学習指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「ふくしまの『授業スタンダード』」や「赤べこプラン」に示されている「ねらいの明確化」、「根拠をもとにした話し合いの充実」を行いながら、基礎基本的な学力の定着を図られるようにしてきた。 ○ 家庭学習の習慣化を図るために家庭に働きかけるとともに、読書活動（朝の読書、うちどく、うちどくりレー等）の推進を図ってきた。 <p>(2) 柳津町学力向上推進事業（町教研への委託）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 会津教育事務所指導主事や町学校教育アドバイザーから指導助言を受け、授業改善に努めてきた。また公開授業研究会を実施した。 ○ 町教研予算により研究先進校に教員を派遣し、先進的な指導方法の研修を進め、可能な限り、教職員間で共有することに努めた。 <p>(3) 全国標準学力検査、国・県学力実態調査の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 全国学力調査、NRT学力検査実施前に、既習事項の確認を行い、実施後は直ちに自己採点をして事後指導をなるべく早く行うよう努めた。また、達成状況を全職員で共有して指導に生かすようにした。 	
成果と評価	<ul style="list-style-type: none"> ○ 昨年度より力を入れてきた読書活動の日常化について、朝の読書、朝の読み聞かせ等の手立てをとおして推進することにより定着しつつある。 ○ 公開授業研究会を実施したことで町内の教職員と授業や学力向上についての成果や課題を共有することができた。 ○ 全国学力調査（国語123%、算数105%以上）は、目標数値を達成している。これまでの指導方法を継続するとともに、児童の実態に応じた指導をとおして、さらに学力向上を図っていきたい。 	達成度 B
次年度への課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭学習の定着、家読りレーの取り組み等には家庭の協力が必要であるが、十分に協力が得られていない。家庭への啓蒙を図っていきたい。 ○ NRT学力検査では、（国語52.7、算数54.4）算数は目標数値を上回ったが、国語は目標数値を若干下回った。各学年の課題を明確にして授業改善を図りつつ、学力向上に努めていきたい。 ○ 新学習指導要領に対応するために、プログラム学習や道徳教育の研究先進校に教員を派遣して、研修を進めていきたい。 	

達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分

	基本事業	2 健やかな体の育成
取組の状況	<p>(1) 学校保健体育、部活動の指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 体力向上推進計画をもとに、始業前の陸上指導(週3回)、杉っ子タイム(業間体育)、町陸上記録会前の特別陸上などを行い、日常的に体力の向上を図ってきた。 ○ 教職員の共通理解のもと、全学級において運動身体づくりプログラムを実施し、基礎体力の向上を図ってきた。 ○ 特別非常勤講師(水泳)、小学校体育専門アドバイザーに来校していただき、児童への技能指導及び教員の授業改善についての指導を受けることができた。 <p>(2) 食育計画の作成と指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校給食指導計画のもと、学校食堂にて全校給食を実施してきた。意図的に縦割り班を編成することにより、楽しい給食の時間になるよう努めるとともに、偏食傾向のある児童に指導してきた。 ○ 町栄養士をゲストティーチャーに招聘して、学級活動の時間に食育指導を実施した。 <p>(3) 全国体力テストの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 日常的な体育指導に加え、体力テスト実施前にはやり方の指導をし、体力・能力を発揮できるようにした。また、体力テストの結果をもとに踏まえて陥没点を指導してきた。 	
成果と評価	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体力テストでは全国水準を上回る結果となっている。始業前、業間等の授業以外の取り組みも成果の一因となっていると考える。 ○ 町水泳記録会、町陸上記録会で多くの児童が入賞した。これまでの指導の成果が現れて児童の自信につながった。 ○ 食育指導を継続してきた結果、偏食傾向のある児童も少しずつ苦手なものを食べられるようになってきた。また、時間がかかっていた児童も時間内に食べられるようになってきている。 	<p>達成度</p> <p style="text-align: center; font-size: 2em;">B</p>
次年度への課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体育指導の研修を深め、肥満傾向の児童や基礎体力の低い児童も進んで運動に親しめるように「楽しい体育」の授業が展開できるようにしていく。 ○ 体力・運動能力の陥没点、特に走力の底上げを図り、体力・運動能力のさらなる向上を目指していく。 ○ 生活習慣が定着していない児童、家庭が見られるため、家庭との連携を密にしながら食育と保健指導のより一層の充実を図っていく。 	

達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分

基本事業		3 豊かな心の育成	
取組の状況	<p>(1) 道徳教育、特別活動における指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 道徳科の授業について研究を深め、思いやりの心が育つよう日々指導してきた。 ○ 学級活動、クラブ活動、児童会活動、学校行事等をとおして、自主性や実践的な態度を育てられるよう、発達段階に合わせた指導を行った。 <p>(2) 体験的活動、ボランティア活動の重視</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 健幸クラブとの交流会を年2回実施し、お年寄りとの交流をした。 ○ 高森集会所で地域のお年寄りと交流したり、学校周辺の施設の清掃を行うなどのボランティア活動を行った。また、会津柳津学園中学校と合同でバイパスでのロードフラワー活動を行った。 <p>(3) 学校図書の整備と読書活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 年間を通じて図書の管理、購入を計画的に行い、読書環境の充実を図ってきた。 ○ 朝の読書活動、うちどく、うちどくりレーを継続的に行ってきた。 ○ 県立図書館より「あづま号」に来校してもらい、新たな本との出会い、本を読む喜びを味わうことができるようにした。 <p>(4) いじめ、問題行動の早期発見、早期対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 児童との教育相談を年2回、アンケート調査を3回実施するとともに、家庭訪問、個別懇談をとおして保護者と情報交換を行った。 ○ 毎月、生徒指導協議会を開催し、児童の生活の様子について、情報の共有を図った。 		
	成果と評価	<ul style="list-style-type: none"> ○ 道徳教育、ボランティア活動の充実を図ってきたことにより、思いやりの心が育ってきている。その結果、いじめと認知される案件は見られなかった。 ○ 地域の人材や素材を活用し、それぞれのねらいに応じて充実した体験活動を実施することができた。特にボランティア活動では地域の方々に喜んでいただくことができた。児童にとっても自己有用感を高めることにつながった。 ○ 司書と図書館担当教員が協力・連携して読書活動における様々な取り組みを継続的に行ってきた結果、以前より本に触れる機会が増え、読書冊数が増加した児童が多く見られた。 	達成度
次年度への課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「特別の教科 道徳」の充実を図る必要がある。それぞれの教員が研修を深めるとともに研究先進校への派遣を行い、それぞれが研修したことを共有していきたい。 ○ 地域連携教職員を中心にして地域と連携しながら体験的活動、ボランティア活動の充実を図り、ねらいに即してより効果的に実施していきたい。特に、次年度開設される複合施設を利用する団体との連携を深めていきたい。 ○ うちどくや、うちどくりレーの充実のために家庭に働きかけ、児童が意欲的に読書に取り組むことができるよう、発達段階に応じた指導を行っていく。 ○ 読書への関心や意欲が継続するよう、児童や教師の希望をとりながら、司書を中心に引き続き計画的な図書の購入に努めていく。 		

達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分

① [生きる力を育む学校教育の充実]

(学校名 西山小学校)

基 本 事 業	4 特別支援教育の充実	
取組の状況	<p>(1) 教育支援委員会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本校の特別支援教育担当が町教育支援委員会や研修会に参加し、そこで学んできたことや情報を本校教職員間で共有し、指導に生かしてきた。 ○ 校内就学指導委員会を年2回実施し、特別支援の視点から児童の学校生活を見つめ、共有した情報を指導に生かしてきた。 <p>(2) 特別支援学級の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本校特別支援学級(情緒)は設置4年目となり、これまでの実績から保護者の理解や、通常学級の担任の協力を得て、計画的な指導を行うことができるようになってきた。また、実態に合わせた自立活動の時間の確保に努めるとともに、T、T指導を行って、児童に必要な支援を行ってきた。 ○ 個別の支援計画の見直しを年度当初に行い、児童の実態に応じた指導に努めてきた。また、特別支援学級担任が日常的に保護者と連絡を取り合い、適時、児童への指導や支援を行ってきた。 	
成果と評価	<ul style="list-style-type: none"> ○ 年度当初に新入生についての情報を共有したり、校内就学指導委員会において特別支援の視点からの情報を教職員間で共有したりすることで、共通理解のもとに全職員で児童に合わせたきめ細かな指導・支援を行うことができた。 ○ 町教育支援委員会での情報を教職員間で共有することで特別支援への理解が深まり、指導に生かすことができた。 ○ 次年度の教育課程編成において、該当児童の成長に伴い自立活動の時間を削減するなど、実態を考慮した教育課程編成を行うことができた。 	<p>達成度</p> <p style="text-align: center; font-size: 2em;">A</p>
次年度への課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 保護者との連絡をさらに密にして個別の支援計画の見直しながら、特別支援教育の充実に努める。 ○ 特別支援教育についての研修を継続し、先進校への研修派遣を実施するとともに、町教育支援委員会で得た情報を共有し、さらに効果的な特別支援教育を進めていきたい。 	

達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分

基本事業	5 小中連携教育の推進	
取組の状況	<p>(1) 小・中学校間連携教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 中学校と連携し、中学2年生と滝谷川での稚魚放流を、中学1年生とバイパスでのロードフラワー活動を実施し、児童生徒間の交流を図ってきた。 ○ 町教研での情報交換や現職教育の授業参観を行うことにより、児童生徒についての実態把握や情報交換を行ってきた。 ○ 中学校体験入学を行い、6年生に中学校の授業や部活動を体験させた。 <p>(2) 小・小学校間連携教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 全学年の交流学习を柳津小と西山小の年間計画に位置づけて実施した。また、青少年の主張大会当日には、本校児童全員が柳津小に出向き、全学年で交流学习を実施した。 ○ 修学旅行、宿泊学習や町水泳記録会、陸上記録会等の行事を合同で行ってきた。修学旅行、宿泊学習については合同で事前学習会を行った。 	
成果と評価	<ul style="list-style-type: none"> ○ 今年度、初めて中学1年生の授業の様子を小学校の前担任が参観するとともに小中間の情報交換の場を設けることができた。 ○ 中学校体験入学を行ったことで、6年生の中学校生活への理解、進学への期待を高め、不安を軽減することができた。 ○ 様々な行事等で、小・小連携を行ったことで児童生徒同士の関係が深まった。本校の児童は、他校の同級生との活動から、人との関わり方を学ぶことができた。また、6年生には中学校への進学に対する不安を軽減する効果があったと考えられる。 	<p>達成度</p> <p style="text-align: center; font-size: 2em;">B</p>
次年度への課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校の教員が中学校の授業の様子参観し、情報交換する場を計画的に設けていくようにしたい。 ○ 保護者からの願いもあり、小・小連携、小・中連携をさらに進めていく必要がある。教育的効果を考えながら、計画的に行事等を実施するとともに連携の状況を検証し、町内小・中学校で協力し合いながら次年度以降の教育課程に生かしていくようにする。 ○ 中学校体験入学を行って、6年生の中学校生活への理解、進学への期待を高め、不安を軽減した。 	

達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分

基本事業	6 情報教育・国際理解教育の充実	
取組の状況	<p>(1) 学校教育用パソコン等 ICT 整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 町教育委員会のご協力により、i P a d の台数確保やアプリの整備が進み、児童が必要なときに使うことができる状況が整っている。 ○ プログラミング学習の完全実施に向けてアプリを活用した授業を行ってきた。また、学習支援システムを必要に応じて活用してきた。 <p>(2) 外国青年（英語指導助手）招致事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 年間計画に沿って、外国語活動のアシスタントとして活用してきた。 ○ 磐梯町立磐梯第一小学校の研修視察をとおして、A L T との連携のしかた、役割分担について研修を深めることができた。 	
成果と評価	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童が i P a d を主体的に学習に主体的に活用しようとする態度が育ってきている。また、プログラミング教育に使用するアプリなどが整備されたことにより、児童は意欲的に学習に取り組むことができています。 ○ 授業者が学習場面に合わせて i P a d や学習支援システムを有効に活用することができた。 ○ 英語指導助手をアシスタントとして活用することにより、授業者の意図に沿った授業を展開することができた。 	<p>達成度</p> <p style="text-align: center; font-size: 2em;">B</p>
次年度への課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ I C T 機器やアプリのよりよい活用方法を町内の学校で共有し、さらに効果的に使用できるようにしていく必要がある。 ○ I C T 支援員の支援・指導を得て、既存の I C T 機器やアプリの性能を最大限に引き出して有効に活用していく。 ○ 中学校進学を考え、柳津小との指導方法のすり合わせも行いながら、教職員の研修や英語指導助手との話し合いを深めていく必要がある。 	

達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分

基本事業	1 確かな学力の向上																	
取組の状況	<p>(1) 「学力向上グランドデザイン」による学習指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分の学びを、相手にわかりやすく表現することができる生徒の育成 <ul style="list-style-type: none"> ① 主体的に取り組むための課題設定の工夫をする。 ② 課題解決のための協働的な学びの場の設定をする。 ③ 表現力を高めるための振り返りの工夫をする。 (2) 柳津町学力向上推進事業（町教研への委託） <ul style="list-style-type: none"> ○英語教育における小中連携と授業研修会による研修 ○小中一貫事業の展開 ○ 町教育研究会指定授業公開、全体研修会（西山小） (3) 全国標準学力検査、国・県学力実態調査の実施 <ul style="list-style-type: none"> ○ 全国標準学力検査の結果分析と補充指導 <table border="1" data-bbox="300 824 1267 965"> <thead> <tr> <th>・全国標準学力 (平均正答率)</th> <th>本校</th> <th>県</th> <th>全国</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国語</td> <td>70.0</td> <td>72.0</td> <td>72.8</td> </tr> <tr> <td>数学</td> <td>51.0</td> <td>57.0</td> <td>59.8</td> </tr> <tr> <td>英語</td> <td>46.0</td> <td>53.0</td> <td>56.0</td> </tr> </tbody> </table>		・全国標準学力 (平均正答率)	本校	県	全国	国語	70.0	72.0	72.8	数学	51.0	57.0	59.8	英語	46.0	53.0	56.0
・全国標準学力 (平均正答率)	本校	県	全国															
国語	70.0	72.0	72.8															
数学	51.0	57.0	59.8															
英語	46.0	53.0	56.0															
成果と評価	<p>(1) 「学力向上グランドデザイン」による学習指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 課題設定や導入の工夫により、生徒の意欲が高まった。 ② 協働的な学びの場の設定により相手の考えのよさに気付いたり、自分の考えを広げたりすることを実感させることができた。 ③ 相手や目的意を意識して相手にしっかり伝えようとする意識が高まった。 <p>(2) 柳津町学力向上推進事業の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 英語科による出前授業や授業参観は、小中での連携の方向性を確認できた。 ② 研修主任部会によるNRT検査結果の分析は、本町の課題の明確化と今後の取り組みを再考する上でよいきっかけとなった。 <p>(3) 全国標準学力検査・県学力実態調査の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 全国標準学力検査（中3）について分析を行い、課題について各教科で補充指導を実施することができた。 	<p>達成度</p> <p style="text-align: center; font-size: 2em;">B</p>																
次年度への課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「課題解決への必然性」において工夫・改善が必要である。 ○ ICT機器の活用における教師・生徒個々のスキルアップと活用場面の工夫・改善に努めていくことが必要である。 ○ 話し合い活動後の自己の考えの深化、表現活動の時間確保のための教師のコーディネート力、指導力の向上などが必要である。 ○ 各検査結果からの生徒の実態分析と、必要な能力の育成に向けた小中連携、各教科での横断的な指導など組織としての取り組みを進めていくことが必要となる。 																	

達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分

① [生きる力を育む学校教育の充実] (学校名 会津柳津学園中学校)

基本事業		2 健やかな体の育成							
取組の状況	(1) 学校保健体育、部活動の指導 ○ 保健体育の授業や部活動への積極的に参加と運動に対する意欲や技能を向上 ○ 健康や安全への関心の向上と自己管理 (2) 食育計画の作成と指導 ○ 栄養士との連携を図った食育に関する授業の実践 ○ 「お弁当づくり」の実践を通しての食に関する理解の推進 ○ 「朝食について見直そう週間」運動の推進 ○ ふくしまっ子健康・体力「自分手帳」を活用しての食育・健康指導 (3) 全国体力テストの実施 ○ 令和元年度本校の体力・運動能力の状況及び平成30年度の目標値								
		男子	目標値	県	全国	女子	目標値	県	全国
	1年生	35.60	(40.00)	33.13	35.61	40.19	(43.00)	44.68	46.80
	2年生	40.27	(40.00)	42.41	45.46	50.38	(45.00)	50.29	53.90
3年生	42.71	(50.00)	48.38	52.02	51.64	(55.00)	51.70	55.55	
成果と評価	(1) 学校保健体育・部活動の充実 授業開始5分間の体力向上トレーニングと常設部と特設部の練習が相乗効果をあげている。 (2) 食育計画の作成と指導 自分の生活の振り返りと生徒や保護者へ必要な情報を提供することができた。また、朝食等のアンケートにより、生徒の実態を把握し、適切な指導を行うことができた。 (3) 全国体力テストの実施 全体的に長座体前屈やハンドボール投げなど一部の種目において全国平均を上回っているが、持久走や50m走の種目において意欲に欠ける面が見られた。						達成度		
							B		
次年度への課題	○ 肥満傾向の見られる生徒について養護教諭、保護者と連携して改善に努めていくことが必要である。 ○ 学年によって集中力に欠ける面が見られるので、テスト結果を基に自己のトレーニングメニューを作成させ、各学年や個々の体力に合ったトレーニングに取り組ませていきたい。 ○ 健康の保持増進を図るために、生徒の個々の記録の向上が分かりやすい資料の作成をしていきたい。								

達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分

①[生きる力を育む学校教育の充実] (学校名 会津柳津学園中学校)

基本事業	3 豊かな心の育成	
取組の状況	<p>(1) 道徳教育、特別活動における指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 道徳教育推進教師を中心とした道徳教育の推進 ○ 生徒の身近な題材を使った授業作り <p>(2) 体験的活動、ボランティア活動の重視</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 修学旅行や校外学習の実施 ○ 地域ボランティア活動の実施 <p>(3) 学校図書 of 整備と読書活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 朝の読書の実施 (年間を通して) ○ 図書室の環境整備と充実 ○ 司書による読み聞かせ <p>(4) いじめ、問題行動の早期発見、早期対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒指導委員会を中心とした全校的な対応 ○ スクールカウンセラー・SSWとの連携 	
成果と評価	<ul style="list-style-type: none"> ○ 道徳教育・特別活動における指導 道徳の授業では、各学級では道徳的価値について迫る授業が行われた。担任外の教師や養護教諭なども授業に加わり、複数教師連携のもと授業を進めることができた。 ○ 体験的活動・ボランティア活動の重視 いろいろな体験活動を通して、多くのことを学ぶことができた。ロードフラワー運動(1年)や清掃ボランティア(2年)で、施設訪問による合唱(3年)木工芸品製作・販売で、地域の方との作業や関わりの機会を設けることができ、ボランティア精神や地域の一員としての自覚を持たせることができた。 ○ 学校図書 of 整備と読書活動の推進 司書の努力で新刊の紹介コーナーの充実、整備、読み聞かせなどの活動により年間を通じて読書活動の啓蒙をすることができた。 ○ いじめ、問題行動等の早期発見・早期対応 毎週の生徒指導委員会を通して情報交換に努め、速やかな組織的対応を行った。その際、保護者への正しい理解を求めめるために面談の場を設定したり、必要に応じて保護者会を開くなどして対応に当たることができた。また、スクールカウンセラーやSSWからの助言をもとに、関係機関との連携を図りながら対処することができた。 	<p>達成度</p> <p style="text-align: center; font-size: 2em;">A</p>
次年度への課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 道徳の授業を中心に様々な体験活動を通して、心の教育を推進したい。 ○ 体験活動については単なる体験にとどまることなく、自主性・主体性・表現力など本校生徒の課題を克服、育成することができるよう事後の活動を含め総合的にとらえていきたい。 ○ 図書館司書を活用し、より一層読書活動を推進したい。 	

達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分

① [生きる力を育む学校教育の充実] (学校名 会津柳津学園中学校)

基本事業	4 特別支援教育の充実	
取組の状況	<p>(1) 教育支援委員会の開催</p> <p>(2) 特別支援学級の整備</p> <p>①情緒障害学級1(在籍1)、知的障害学級1(在籍1)を整備した。</p> <p>②指導方針</p> <p>i 在級生徒の能力・適正を把握し、心身の発達や障がいの程度に即応する指導を行い学校生活の全領域で身辺自立の習慣や対人関係の調和を身につけ、将来望ましい社会人としての生活が営まれるよう配慮した。</p> <p>ii 日常生活や将来の職業生活に行かされるよう配慮した。</p> <p>iii 指導の方法や内容の配列を工夫し、生徒の実態・進歩の状況に応じ、弾力的な運営を進めた。</p> <p>iv 在級生徒の実態に応じ、基礎的なICT活用能力、英語能力、生活に必要な基礎学力の向上をはかると共に、家庭や地域社会とのネットワークと連携を密にし、社会を生き抜く資質、及び地域に学び、地域に育つ教育の充実が図られるよう配慮した。</p>	
成果と評価	<ul style="list-style-type: none"> ○ 交流教育が特別支援学級の理解を促し、通常学級の生徒と特別支援学級の生徒相互に意義があることを認め、全職員の共通理解のもと指導できた。 ○ 各行事や生徒会活動、部活動など、いろいろな機会を捉え通常学級生徒の特別支援学級生徒に対する理解を促した。 ○ 学級担任と担当者との連携を密にし、必要に応じて協議検討しながら、交流教育の円滑化を図った。 ○ 特別支援教育の考え方を通常の指導にも活かすことができた。 ○ 特別支援コーディネーターを中心に、通常学級において合理的配慮を必要とする生徒との関わり方、指導について共通理解のもと、指導に当たることができた。 	<p>達成度</p> <p style="text-align: center; font-size: 2em;">A</p>
次年度への課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 特別支援学級は廃級となるが、これまで積み重ねてきた特別支援学級在籍生徒への指導の在り方などの知見を学校教育活動全体に生かしていきたい。 ○ 現在、通常学級ではあるが個別支援を要する生徒がおり、担任、学年、支援員等の連携のもと、本人・保護者との関わり方、適切な指導の在り方について検討していきたい。 	

達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分

① [生きる力を育む学校教育の充実]

(学校名 会津柳津学園中学校)

基 本 事 業		5 小中連携教育の推進	
取組の状況	<p>(1) 小・中学校間連携教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 現職教育部や町教研英語部会を中心とする研究授業をお互いに参観することにより指導法について意見交換をし、授業の質的改善に努めた。 ○ 中学1、2年生が小学1年生に絵本の読み聞かせを行った。読み聞かせの難しさや思いやりの心、ボランティアの大切さなどを学ぶ機会とした。 ○ 合同のロードフラワー運動を行い、地域と一体となった活動を展開した。 ○ 中学生が小学校に出向き、学習ボランティアや読み聞かせを行った。 ○ 小・中合同避難訓練、稚魚放流など小学校2校との連携のもと行事運営に努めた。 <p>(2) 小・小学校間連携教育の推進</p>		
	成果と評価	<p>○ 小・中学校連携教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 町内小学校2校との連携を図り、小・中相互の授業参観、元小6担任による中1の授業参観や学習面・指導面での共通実践事項を定めて、一貫性のある指導ができるように努めた。1、2年生が小学校に出向き、学習ボランティアや絵本の読み聞かせを行った。小学生に分かりやすく教える方法を検討して取り組み、小学生との関わりから、表現することの難しさを実感し、自己有用感の育成にもつながった。 ・ 年間を通して、小学校の先生方と協議をしたり、行事等をともにできたことは、子どもたちの9年間の成長のために、各年代でどのようなことをすべきか考える良い機会となっている。「連携」にとどまらず、「一貫」に近い取組を行い、9年間を見通した指導を工夫したい。 	達成度
次年度への課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 連携を充実させるためには時数の確保が不可欠であり、小・中連携の行事の内容や実施時期、回数などについて吟味し、検討を行いたい。 ○ 今年度の英語科の実践にとどまることなく、小・中相互の授業参観、研究会などは充実させ、他教科でも実施したい。 		

達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分

① [生きる力を育む学校教育の充実]

(学校名 会津柳津学園中学校)

基本事業	6. 情報教育・国際理解教育の充実	
取組の状況	<p>(1) 学校教育用パソコン等ICT整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ クロームブックが整備され、各学年でタブレットパソコン（インターネットや学習ソフト等）を生徒が一人1台ずつ使用できる環境整備を行った。 ○ ICT支援員の派遣事業により、支援員による研修や相談の機会を設定し、教師の授業での活用等においてスキルの向上を図った ○ 5教科や保健体育科を中心にタブレットパソコンを授業に取り入れ、導入、展開、まとめ（ふりかえり）などにおいて活用を図った。 ○ 技術科ではプログラミング学習として、ドリル形式によるプログラム作成を行った。 <p>(2) 外国青年（英語指導助手）招致事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 担当教諭との打ち合わせのもとALTの有効活用を図った。 	
成果と評価	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒一人1台ずつノートパソコンを使用することができ、インターネットを使って効果的な調べ学習が行うことができた。 ○ 一人1台タブレットPCが使用できる環境設定が整備され、指導の幅が広がった。 ○ ICT支援員の配置により、教師のスキルアップが図られ、授業参観や情報交換を通し教師間で意欲の高まりがみられた。 	<p>達成度</p> <p>B</p>
次年度への課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 電子黒板、タブレット、パソコン等を活用して、どのような授業が行えるのか、ICT支援員などの専門家による研修の機会を設けることが必要である。 ○ 機器の導入だけではなく、機器を効果的に活用するために小中教師間の情報交換や、出前授業などを行い、ICT機器の活用に関しても積極的な交流を図る必要がある。 ○ 町内3校が連携して活用促進できるよう、機器環境の統一化を図りたい。 ○ ICT機器の家庭での活用（振り返り、発展等）の仕方について、検討したい。 ○ 週1回の勤務日が限られているので、連続した務日を設定するなどして、ALTとの打ち合わせの時間を確保し、さらなる有効活用を図りたい。 	

達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分

① [生きる力を育む学校教育の充実]

基本事業	7 教育環境・条件の整備充実
取 組 状 況	<p>(1) 学校施設等改修整備事業 <input type="checkbox"/> 柳津小学校空調機設置工事 <input type="checkbox"/> 柳津小学校体育館屋根改修工事 <input type="checkbox"/> 柳津小学校校舎前舗装等改修工事 <input type="checkbox"/> 西山小学校空調機設置工事 <input type="checkbox"/> 西山小学校体育館屋根改修工事 <input type="checkbox"/> 会津柳津学園中学校空調機設置工事 <input type="checkbox"/> 会津柳津学園中学校トイレ改修工事 <input type="checkbox"/> 会津柳津学園中学校体育館照明器具改修工事 <input type="checkbox"/> 会津柳津学園中学校外周改修工事</p> <p>(2) 教材教具整備事業 <input type="checkbox"/> 小中学校共通教材等更新整備 <input type="checkbox"/> 小中学校共通図書図書購入 <input type="checkbox"/> ICT機器整備：iPAD、デジタルハイビジョン液晶テレビ Apple TV 他（柳津小学校） <input type="checkbox"/> ICT機器整備：ワイヤレスキーボード付スリムケース（西山小学校） <input type="checkbox"/> ICT機器整備：iPAD（会津柳津学園中学校） <input type="checkbox"/> ICT授業支援システム導入 <input type="checkbox"/> ICT支援員の配置</p> <p>(3) 就学援助事業 <input type="checkbox"/> 準要保護児童就学援助 4名（小学校3名・中学校1名） <input type="checkbox"/> 特別支援児童就学援助 6名（小学校4名・中学校2名）</p> <p>(4) 児童生徒通学費補助事業 <input type="checkbox"/> 遠距離通学児童生徒に対するバス定期券購入費助成</p> <p>(5) 高校生奨学金貸与事業 <input type="checkbox"/> 貸付実績なし</p> <p>(6) 教職員福利厚生事業 <input type="checkbox"/> 教職員成人病検診、人間ドックの実施</p> <p>(7) 教員住宅管理事業 <input type="checkbox"/> 教職員への住宅貸付、住宅管理（教員住宅8戸）</p> <p>(8) スクールバス運行事業 <input type="checkbox"/> スクールバス運行委託 柳津5路線、西山3路線 <input type="checkbox"/> スクールバス高森線の更新</p> <p>(9) 特別支援教員等の配置 <input type="checkbox"/> 柳津小学校特別支援員1名配置 <input type="checkbox"/> 西山小学校に常勤講師2名配置 <input type="checkbox"/> 会津柳津学園中学校特別支援員1名配置</p> <p>(10) 学校図書司書の配置 <input type="checkbox"/> 学校図書司書2名配置</p> <p>(11) 学校用務員の配置 <input type="checkbox"/> 学校用務員各校1名（計3名）</p> <p>(12) 給食費補助事業 <input type="checkbox"/> 給食費半額の補助</p>
	<p>○学校施設等施設等改修整備事業は、概ね計画どおり進捗し、整備竣工した。 <input type="checkbox"/> 教材教具整備事業では、計画どおり整備竣工した。 <input type="checkbox"/> 図書司書の配置により読書活動の推進が図られている。 <input type="checkbox"/> 用務員の配置により、主に学校施設環境等の維持が図られている。 <input type="checkbox"/> 給食費半額補助により、子育て支援の充実が図られ、保護者の負担軽減につながっている。</p> <p style="text-align: right;">達成度 B</p>
次年度への課題	<p>○令和2年度よりプログラミング授業が必修化されるため、引き続きICT学習環境を整備していく必要がある。 <input type="checkbox"/> 柳津小学校では校舎壁紙改修工事・足棚設置工事、西山小学校ではプールフェンス改修工事、会津柳津学園中学校では給食配膳室改修工事・鉄骨階段及び軒天改修工事等を実施していく。（令和2年度実施） <input type="checkbox"/> 各校共、老朽化等による小規模な施設改修を行っていき、現代の学校環境のニーズにより各校の共通の施設改修としてトイレの洋式化を実施する。 <input type="checkbox"/> その他、継続的事业については、令和2年度も引き続き実施していく。</p>

達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分

② [郷土を愛する心を育む青少年の健全育成]

基本事業	1 郷土を愛する心の育成	
取組の状況	<p>(1) 児童生徒の地域行事への参加促進 ○小中学生が参加できる町行事について、町校長会を通して周知し、参加奨励を実施。</p> <p>(2) 青少年の主張発表大会の開催 ○大会開催：発表者7名・町内小中学児童、生徒（小学3年生以上）の参加 ○文集「わたしの主張」を作成し全戸配付。 ○町青少年育成町民会議健全育成部会において計画立案</p> <p>(3) 青少年育成町民会議運営事業 ○4部会（健全育成・非行防止・環境浄化・広報）で構成 ○各部会において年間活動計画の立案</p> <p>(4) 成人式の開催 ○対象：町内出身者男性16名、女性16名、合計32名（うち27名出席） ○会場：ふれあい館8月15日（木） ○内容：式典、講演会 「笑いと夢と福島と」 講師：関 あつし 氏（母心）</p> <p>(5) 中学生海外派遣事業「ふれあいの翼」 ○実行委員会の開催 3回 ○令和2年度第17回海外派遣事業の内容決定 ○コロナウィルス感染拡大防止のため、第17回海外派遣事業の中止を決定</p>	
成果と評価	<p>○小中学校4校の児童生徒7名による主張発表が行われ、日常生活や家庭など身近なものを取り上げた主張や、学校生活や友達について主張した生徒もあり、広聴者にとっても興味深い発表会となった。全校生（小3以上）が参加し発表を聞き、より充実した発表会となった。</p> <p>○青少年育成町民会議の各部会の活動にはそれぞれの部員が積極的に参加し、柳津町の青少年健全育成に努めている。</p> <p>○お盆の成人式は対象者の参加率も高く、記念講演ではふるさと福島を思う心と、夢を叶えるための努力や工夫という内容の講演であった</p> <p>○海外派遣事業については、内容、旅行会社の決定後中学1年生、2年生を対象に募集し、1年生7名、2年生8名計15名の申込みを受けたが、コロナウィルスの蔓延状況を鑑み、令和2年3月10日の実行委員会にて中止の決定をした。</p>	達成度 B
次年度への課題	<p>○町行事等に小中学生が参加しやすい環境を作り、郷土を愛し誇りが持てるための学習機会の定着に向け情報提供や参加への働きかけを継続する。</p> <p>○柳津町の出身者であることを再確認し、故郷愛を育むことのできる成人式としたい。</p> <p>○海外派遣は、家庭の負担、子ども達への公平性の観点から修学旅行の一環で実施する方向で進めてきたが、現状からは困難となってきた。</p> <p>令和元年度の事業中止を受けて次年度実施へ向け、対象学年、派遣先等を再考する必要がある。</p>	

② [郷土を愛する心を育む青少年の健全育成]

基本事業		2 家庭教育の充実	
取組状況	<p>(1) 家庭教育講座の開催</p> <p>○就学时子育て講座の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：令和元年9月18日(水)(柳津小) ・講師：喜多方市 水戸 昇 氏 ・対象者：就学児童の保護者 ・参加人数：17名 <p>(2) 青少年育成セミナーの開催</p> <p>○SNSによる犯罪等被害状況とその対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：令和2年2月20日(木) ・講師：根本 雅昭氏(情報化支援機構会長) ・参加人数：19名 <p>○青少年と地域・大人の関わりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：令和2年2月27日(木) ・講師：伊藤 末吉(元県青少年育成町民会議青少年育成専門指導員) ・参加人数：9名 		
成果と評価	<p>○就学时検診に併せて、就学児童を持つ保護者の子育てについて、講師を招き講演会を開催した。</p> <p>保護者同士の交流の場、情報交換の場にもなっている。</p> <p>○教育関係者を中心にセミナーを開催し、テーマごとに青少年育成のために大変参考となった。平日でもあったため参加者が少数であった。</p>		達成度
次年度への課題	<p>○就学児童の保護者のみを対象とした内容であるため、さらに広い範囲に家庭教育の充実を呼びかけられる事業に発展させたい。</p> <p>○家庭のみならず地域の人との関わりを通し、より良い青少年の育成を図っていききたい。</p>		

② [郷土を愛する心を育む青少年の健全育成]

基本事業	3 学校教育と社会教育の連携・融合	
取組の状況	<p>(1) 子どもチャレンジ事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ジュニアサマーキャンプ <ul style="list-style-type: none"> ・7/30～31日にいわき海浜自然の家に宿泊し、海辺の体験を中心に実施 ・参加者：小学5年生、6年生 25名 ○柳津西山地熱発電所見学・8/6（火）実施・4名参加 ○座禅・写経体験・8/8（木）実施・4名参加 ○グローバルピッグファーム見学・8/20（火）実施・5名参加 <p>(2) スポーツ少年団活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ソフトボール・柔道・ソフトテニス・バレーボール・バドミントン・海洋性スポーツの6種目に104名登録し、運動公園施設、各校体育館等で活動した。 <p>(3) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校芸術鑑賞会（太鼓グループ・倭YAMATO） <ul style="list-style-type: none"> ・7/2（火）中学校体育館で実施・小学生、中学生、一般参加 ○オリンピックメダリスト中村真衣氏によるスイミング教室 <ul style="list-style-type: none"> ・7/16（火）B&Gプールで小学5、6年生を対象に実施・43名参加 ○らんま先生のおもしろサイエンスショー <ul style="list-style-type: none"> ・9/21（土）ふれあい館で実施・約50名参加 ○長谷川義文絵本ライブ <ul style="list-style-type: none"> ・1/25（水）ふれあい館で実施・約90名参加 	
成果と評価	<p>○ジュニアサマーキャンプは、県のサポート事業を受け、海辺に親しみ魚に親しみ丈夫な体づくりを目的に実施した。海から遠い当町の子ども達にとって貴重な経験となった。</p> <p>○スポーツ少年団活動は、年々減少する会員の中で各種目ごとに活発な活動がなされている。海洋性スポーツのみ団員がいないため活動はされていない。各種目の指導者の方々は熱意を持って指導しておられ、町としても引き続き必要な支援をしていく。</p> <p>○その他の活動として、公益財団法人市町村振興協会やコミュニティ助成事業、また県サポート事業の補助を受け、各種講演会や体験教室を実施してきた。今後についても各種補助金を活用し、さまざまな体験事業を実施したい。</p>	<p>達成度</p> <p>A</p>
次年度への課題	<p>○児童の安全を第一に各種事業を企画、運営する必要がある。特に当面は新型コロナウイルス感染に十分注意をした運営が求められると同時に学校や家庭の協力を得ることが不可欠である。</p>	

② [郷土を愛する心を育む青少年の健全育成]

基本事業		4 子どもの居場所づくり	
取組の状況	<p>(1) 放課後こども教室推進事業</p> <p>○柳津小学校区「ジャンプやないづ」の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・週1回～2回 年53回 ・登録人数19名、スタッフ6名 <p>○西山小学校区「杉の子サークル」の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・週1回程度 年38回 ・登録人数20名、スタッフ3名 <p>各教室では、町のイベントに合わせた作品の出品や、伝統的な年中行事に合わせた活動体験を実施した。</p> <p>また、町内の講師に依頼し、お茶教室やニュースポーツ教室、俳句教室などの専門性の高い体験、美術館地域おこし協力隊とコラボした縄文土器づくりなど、一般では体験できない学習を数多く取り入れた。</p>		
	成果と評価	<p>○放課後子ども教室は少子化により、家に帰っても遊ぶ友達がいない・・・</p> <p>そんな子ども達が放課後子ども教室で、子ども同士のつながりだけでなく地域の方々とふれあい、学校や家庭とは違う時間を過ごす中で、子ども達は豊かな心を育成し、地域の方が子ども達を見守る気持ちから、安全面においても大きな役割を果たしている。</p> <p>また、子どもにとって地域の人との関わりが持てる場所として貴重である。</p>	達成度
次年度への課題	<p>○通年において活動指導員や安全指導員の確保が課題となっている。また参加児童の中でも、積極的に取り組む者、厭々ながら行っている者が混在し、教室運営に支障をきたす場合があることから、実施目的を本来の「学校ではできない体験」を提供する場ととらえ、参加者固定の教室から体験を希望する児童に対する教室へと切り替える時期である。</p>		

② [郷土を愛する心を育む青少年の健全育成]

基本事業	5 見守りボランティアの活用	
取組の状況	<p>(1) 見守りボランティア会議の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ○見守りボランティア会議を柳津小学校、西山小学校と学校単位で開催 それぞれの学校で第1回目の会議の席上、会員の皆さんへ委嘱状を交付し、柳津町こども見守りボランティアとして活動内容について確認し、情報交換を行った。 <p>(2) 見守りボランティア活動支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ○会員名簿の見直し及び作成 ○下校時刻ハザードマップ等の情報提供 ○会員を学校を通じ子供たちへ紹介。 <p>など会員の活動意欲を高めてもらえるよう支援を行った。</p>	
成果と評価	<ul style="list-style-type: none"> ○柳津小学校と西山小学校で会議を行い、児童の様子などのついでの情報交換を行った。 学校とボランティア双方で確認しあうことで実態を正確にとらえ、安全のためのきめ細かな対応ができた。 ○学校からの下校時刻等の情報提供でボランティアの活動が効果的に実施できた。 	<p>達成度</p> <p>B</p>
次年度への課題	<ul style="list-style-type: none"> ○防犯協会と防犯ボランティア、そして見守り活動の位置づけを明確にするため、役場総務課、教育員会そしてボランティアで協議を進めてきた。次年度はより継続的に活動が実施できるよう設立総会を開催する必要がある。 ○防犯ボランティアの見守り活動についての広報を工夫し、次の活動に参加していただける方をより多く募っていく必要がある。 	

③ [生きがいを感じる生涯学習の推進]

基本事業	1 生涯学習推進体制の整備充実	
取組の状況	<p>(1) 社会教育委員会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ○委員7名年2回の開催(8月・12月) ・年間事業の状況検討、計画等、生涯学習に関する全ての協議機関 ・スポーツ振興審議会も兼務する。 <p>(2) 各機関団体連絡協議会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ○町内機関団体34団体年2回の開催(6月・1月) ・年間行事調整、イベント等の説明 ・生涯学習カレンダー及び門松(紙)の印刷、全戸配布 <p>(3) 柳津婦人会運営補助事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間活動事業への支援と助言 ・地区婦人会活活動への支援 	
成果と評価	<ul style="list-style-type: none"> ○社会教育委員会において生涯学習全般を審議しているが、生涯学習は範囲も広く大変重要な分野であるため、今後も学識経験とそれぞれの専門分野から適切な指導をお願いしていきたい。 ○各機関の団体長が一同に集まる連絡協議会において各機関の情報共有を図り生涯学習カレンダーを制作している。 ○婦人会活動は自主活動が定着し、各種イベントへの参加や協力が多く見られているが、若年層の入会者が少なく年々会員数は減少している 	<p>達成度</p> <p style="text-align: center;">A</p>
次年度への課題	<ul style="list-style-type: none"> ○社会教育委員会は重要な審議機関であるため、十分な審議がなされるよう生涯学習に係る説明を明確にし、各委員の意見を確認しながら事業を進めていく。 ○各機関団体連絡協議会は、唯一の団体間の連絡機関として、互い情報共有できる貴重な場であるが、年に1回の開催でも事業の目的は十分達成できるものとする。開催数を見直したい。 ○柳津婦人会は年々会員が減少しているが、事業は減っていない現状にある。今後は、各地区の事情を考慮しながら、婦人会としての在り方を検討する必要がある。 	

③ [生きがいを感じる生涯学習の推進]

基本事業	2 多様なニーズに応える学習機会の充実	
取 の 状	<p>(1) 高齢者学級「福寿学園」「養寿学園」の開催 ○月1回の開催・受講生福寿21名、養寿26名。</p> <p>(2) 成人学級「悠友倶楽部」の開催 ○月1回の開催・受講生61名</p> <p>(3) 料理教室の開催 ○管理栄養士を講師に月1回、第一水曜日に開催。受講生11名</p> <p>(4) その他の教室 ○クラフトテープバッグ作り 2日間 受講生 11名 ○笑いヨガ教室 6回 受講生延26名 ○味噌作り教室 1回 受講生31名 ○魚のさばき方教室 1回 受講生29名 ○韓国料理教室 1回 受講生 20名 ○パソコン教室(猪鼻地区) 5回 受講生延べ25名 ○久保田婦人会健康講座 1回 受講生20名 ○やなぎ老人会健康講座 1回 受講生約25名 ○県立美術館芸術鑑賞会 1回 参加者16名</p> <p>(5) 講演会の開催 ○小泉武夫先生 健康講演会 60名 ○野崎洋光先生 料理講習講演会 58名 ○三遊亭白鳥・健康落語公演会 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止</p>	
成 果 と 評 価	<p>○通年行っている教室では、高齢者学級の会員数が減少を続けてはいるものの、悠友倶楽部の趣味と実益を兼ねた内容の教室は、大幅な会員増となっている。</p> <p>○その他、県のサポート事業の補助金を受け、前年度から取組んでいる各種講座や、講演会については昨年同様に多くの参加者を得て実施できた。</p>	<p>達成度</p> <p>A</p>
次 年 度 へ の 課 題	<p>○高齢者学級は高齢化が進む中、身体の原因などから年々参加者の減少が目立つ。参加者減少に歯止めをかけるため既存の学級生のニーズを検証し、より魅力ある学習内容を取り入れて新規参加者を増やしていく必要がある。</p> <p>○時代のニーズに応じた教室運営を実施しながら、参加者を募っていく。また、これまでも課題であった男性の参加を得るための講座運営が必要である。</p>	

③ [生きがいを感じる生涯学習の推進]

基本事業	3 生涯学習施設・設備の整備充実	
取組の状況	<p>(1) 活性化施設「ふれあい館」管理運営事業</p> <p>○地域住民の活動の拠点として、利用しやすい施設づくりに取り組んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平日は午前8時30分～午後9時まで開館 ・土、日、祝日は午前8時30分～午後5時まで開館（夜間は予約制）各種学級、講座、文化団体、学校・PTA、体育関係、役場の会議、趣味のサークル、トータルスポーツ、一般会議・研修等への貸出。 <p>(2) 図書館整備事業</p> <p>○町広報誌による新刊図書の紹介や図書室のスペースを利用して、わかりやすい図書の紹介をして、関心を集めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規購入図書 258冊 <p>(3) 地区集会所施設の整備補助事業</p> <p>○町内7地区集会所の改修、修繕等の助成事業を実施し、地域コミュニティの拠点づくりと環境整備等に支援。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総事業費 8,034,687円 補助金総額(80%) 6,425,000円 	
成果と課題	<p>○各種教室やクラブ活動、サークル活動に有効に活用していただけるよう利用促進を図っている。放課後の児童生徒の利用に際しては公共の場でのマナーを指導しつつ放課後児童の場として提供している。</p> <p>○図書システムの導入によりスムーズな運営が出来ている。年間4回に分けて新規図書を購入し、新聞図書の充実に努めた。また定期的に配置換えを実施し魅力的な図書館づくりに努めた。</p> <p>○各地区集会所の整備はコミュニティづくりに大きな役割を果たしている。</p>	<p>達成度</p> <p>A</p>
年	<p>○ふれあい館は公共の場であり、使用する際のマナーや挨拶の徹底を青少年教育の一環として引き続き取り組んでいくことが必要。</p> <p>○各地区の運営費も高齢化のため厳しい状況にあることを鑑み、それぞれの地区の事情に応じた集会場の整備を実施していく必要がある。</p>	

④ [健康な生活をめざすスポーツ・レクリエーションの推進]

基本事業	1 生涯スポーツの意識啓発とスポーツ活動の充実	
取組の状況	<p>(1) 各種町民スポーツ大会等の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飯谷山山開き (230名) ・博士山山開き (170名) ・町民ゴルフ大会 (43名) ・霊まつり少年ソフトボール大会 (18チーム) ・町民ソフトボール大会 (15チーム) ・町民運動会柳津 (1, 119名) 西山地区台風19号の影響により中止 ・町民バレーボール大会 (16チーム) ・西山地区町民赤べこボール大会 (4チーム) ・赤べこボール教室 3日間で延べ (77名) <p>(2) 県総体県民スポーツ大会への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ○県民スポーツ両沼大会には、5競技参加 ○会津大会は3競技参加 <p>(3) ふくしま駅伝競走大会への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第31回市町村対抗福島県縦断駅伝大会に出場し健闘を見せた (16区間全長94.8km) 総合成績 全53チーム中45位、 町の部成績 全29チーム中23位 5時間2分27秒 <p>(4) 市町村対抗軟式野球大会・ソフトボール大会への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ○町野球連盟を中心に柳津町チームが出場し1回戦相馬市に勝利、2回戦白河市敗退 ○ソフトボールは台風19号の影響により中止 <p>(5) 町体育協会運営事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・12の加盟団体を構成し、スポーツを通じて町民の体力向上のため、各種競技団体に工夫し実施している。 <p>(6) スポーツ推進委員会の開催と活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月1回の定例会の開催と生涯スポーツの指導から立案と反省、両沼並びに県の研修会への参加、各種スポーツ教室の指導。 委員数13名 <p>(7) スポーツ講演会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本長距離界、マラソンブームをけん引してきた「瀬古利彦氏」による講演会と、ふくしま駅伝やないづチーム等を対処に実技指導を行った。 	
成果と課題	<p>○ふくしま駅伝は一般成人、高校生の選手が減少する中で中学生に頼らざるを得ない状況が続いている。</p> <p>○野球、ソフトでは経験者が中心となり、練習や大会に臨んでおり年々成果をあげているが、中学校に野球部が無くなり後世に続けることが課題である。</p>	<p>達成度</p> <p>A</p>
次年度への課題	<p>○町民ソフト、町民バレーは高齢化に伴い、参加が厳しい地区が出てきている。特に西山地区では単独で出場する地区が全くないため、新西山公民館を活用し体育事業を考えたい。</p> <p>○柳津地区運動会は昼食時間を取らずに実施している。西山地区においても意見を集約し検討する。</p> <p>○長距離競技は小学生の早い段階から正しい指導と親しみを持って接する事が大事であり、中・高校生選手の育成が必要となっている。</p>	

④ [健康な生活をめざすスポーツ・レクリエーションの推進]

基本事業	2 総合型地域スポーツクラブの充実																						
取組の状況	<p>(1) 赤ベコトータルスポーツの活動支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局を海洋センター体育館事務室に置き、クラブマネージャーが活動計画や運営に携わっている。 ・活動場所として、運動公園施設、ふれあい館を無償で提供している。 ・町事業の委託 「楽関スクール」「ジュニアニュースポーツ」「笑いヨガ教室」「スイミング教室」 <p>(2) 赤ベコトータルスポーツの運営支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町運営補助金 (1,000,000円・令和2年度まで) ・活動内容 各種スポーツ、健康教室／サークル活動教室／短期講習会／大会運営／文化教室 <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">会員数</td> <td style="width: 55%;">正会員</td> <td style="width: 30%; text-align: right;">15名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>利用会員 (大人)</td> <td style="text-align: right;">18名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>利用会員 (小人)</td> <td style="text-align: right;">17名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ファミリー会員</td> <td style="text-align: right;">8名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>シニア会員</td> <td style="text-align: right;">7名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ハーフ会員</td> <td style="text-align: right;">6名</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: right;">71名</td> </tr> </table>		会員数	正会員	15名		利用会員 (大人)	18名		利用会員 (小人)	17名		ファミリー会員	8名		シニア会員	7名		ハーフ会員	6名		計	71名
	会員数	正会員	15名																				
	利用会員 (大人)	18名																					
	利用会員 (小人)	17名																					
	ファミリー会員	8名																					
	シニア会員	7名																					
	ハーフ会員	6名																					
	計	71名																					
成果と評価	<p>○種目により活動にばらつきがある様だが、固定した会員で継続して活動している種目がある。</p> <p>外部での大会や教室等に積極的に参加している。</p> <p>○住民の体力増進や青少年の健全育成など貢献度は大きい。</p> <p>○町事業の受託団体として、多岐にわたる活動範囲を広げつつある</p> <p>○会員数は昨年と同数であり、新規の会員確保ができていない。</p>	<p style="text-align: center;">達成度</p> <p style="text-align: center;">A</p>																					
次年度への課題	<p>○年々会員数が減少している状況にあり、運営に支障をきたすことが懸念される。会員の拡大へ向け事業の推進を目指していきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規会員の確保 ・指導者の養成 ・活動種目及びイベント種目の企画立案 ・町と連携した組織運営 ・財政的に自立した組織運営 																						

④ [健康な生活をめざすスポーツ・レクリエーションの推進]

基本事業	3 スポーツ施設・設備の整備充実	
取組の状況	<p>(1) 運動公園施設整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度から施設の管理を「NPO法人赤べこトータルスポーツ」に委託し、民間による施設の有効活用を図っている。 ○体育館は昭和54年に建設され、今年度で40年目を迎えたが、昨年度体育館の屋根の塗装を行っている。 年間利用者数 7,604人 (町民6,514人、町外1,090人) ○武道館は昭和55年に建設され、4年前に屋根の塗装を行ったが雨漏りが見られ、屋根の巻込み部分の修繕を行った。 年間利用者数 700人 (町民538人、町外162人) ○プールは昭和56年に建設され、今年度はプール内部の塗装と、男女更衣室ロッカーを新規購入した。 年間利用者数 2,239人 (町民1,688人、町外551人) ○艇庫は体育館と同じ年度に建設、艇庫台車のリフト電源が故障したが応急処置により使用、次年度ワイヤーロープ及び電気配線の修繕予定。 ○テニスコートは町外の団体や、長期合宿で利用することが多い。備品の新規購入等を行った。 年間利用者数 4,383人 (町民2,803人、町外1,580人) ○グラウンドは昭和57年に整備された後、野球内野部の整備、ソフトボール側照明のLED化、土入替え等を行っている。今年度は野球側の照明不点灯部分の電球入替えを行った。 年間利用者数 4,613人 (町民2,116人、2,497人) ○運動公園施設の年間利用者合計 19,539人 (町民13,659人、町外5,880人) <p>(2) B&G指導者育成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ○公民館職員1名受講し、センターインストラクター資格を得る 	
成果と評価	<ul style="list-style-type: none"> ○B&G関係施設は各種大会や教室、スポ少、部活動、スポーツ合宿等利用が多く、地域住民の健康と青少年の健全育成の場として高く評価できる。また、震災後は町内宿泊施設利用者に対する施設無料措置を継続し、夏場にスポーツ合宿招致をはじめ、町内への誘客促進に寄与している。 ○運動公園施設は近隣市町村の利用も多く、スポーツの町やないづのシンボルとして優れた指導者や選手の育成に施設の役割は大きい ○民間スポーツ団体に委託することで、町民のスポーツ振興に寄与できるものとする 	<p>達成度</p> <p>A</p>
次年度への課題	<ul style="list-style-type: none"> ○今後も修理、備品整備を行いながら、利便性と安全性を考慮した施設運営を行っていく。 ○スポーツ民間団体が施設に席を置くことにより、町スポーツ振興の拠点として官民連携により大いに活用を図りたい。 	

⑤ [地域の伝統文化の継承と文化財の保存]

基本事業	1 町民の文化活動の充実	
取組の状況	<p>(1) 文化協会、各種文化団体の活動</p> <p>○加盟13団体による、年次計画によりそれぞれが実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会津西部総合演芸大会(会場/三島町町民センター 10/23) ・現地研修会・天皇陛下御即位記念展 正倉院の世界 ゴッホ展(11/20) ・会津西部総合演芸大会(会場/つきみが丘町民センター 12/1) ・冬まつり参加協力 <p>(2) 柳津町文化祭の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日 : 11月3日 ・文化作品の展示 ・各団体、小中学生、放課後子ども教室の作品展示 ・町内小中学生の作品展示 	
成果と評	<p>○文化協会活動には協会加盟団体が積極的に参加し、柳津町の文化活動を盛り上げた。各団体が技術の向上のため、頻繁に活動している様子が伺える。</p> <p>○文化祭には多くの来場者が訪れ、日頃の活動の成果を広く知っていただく事ができた。</p>	<p>達成度</p> <p>A</p>
次年度への課題	<p>○各クラブとも会員の高齢化により、年々各種事業への参加者が減少している。今後は、文化活動を絶やさないようにするため若い人の新規加入を斡旋していく必要がある。</p> <p>○文化祭については、一般公募作品の出展が少ないため、今後は広く広報活動を行い、より多くの町長が気軽に出品できるよう、参加型イベントにしていく必要がある。</p>	

⑤ [地域の伝統文化の継承と文化財の保存]

基本事業	2 地域の伝統文化の継承	
取組の状況	<p>(1) 地域伝統文化団体の育成と支援</p> <p>○しめ縄・ほうき作り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日 : 12月12日、13日 ・場所 : ふれあい館展示室 ・参加者 : 19名 <p>○またたび細工</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日 : 2月18日～21日 ・場所 : ふれあい館展示室 ・参加者 : 13名 <p>○冬まつりにおいては提灯行列や、鳥追いを実演し伝統文化の継承に努めた。</p> <p>○伝統文化現況調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月に全行政区(47)を対象に地区で実施していた伝統行事の現況と、継承していく上での課題等を調査した。 <p>結果により今後の伝統文化継承のための参考としたい。</p>	
成果と課題	<p>○伝統工芸教室への参加者は昨年より減少傾向にあるが、毎年参加し着実に腕をあげている方もいる。</p> <p>継続して取り組むことで、後継者の育成につながると考える。</p> <p>地区における伝統行事の現況を見てみると、材料を入手しにくいことも一因と判明した、地区での課題を把握できたことで、より効果的な支援が可能となった。</p>	<p>達成度</p> <p>A</p>
次年度への課題	<p>○伝統文化を伝える人の高齢化が大きな課題であり、若年層への継承に苦勞しているところである。</p> <p>継承が難しいのであれば、伝統文化を映像やデータで保存しておく対策も必要となってくる。</p>	

⑤ [地域の伝統文化の継承と文化財の保存]

基本事業	3 やないづ町立斎藤清美術館の充実	
取組の状況	<p>(1) 斎藤清展事業</p> <p>○企画展の実施 (年4回開催)</p> <p>「もうひとつの会津の四季」2019.3.16～6.23、「LIFE Season1」6.29～9.16、「斎藤清の墨画展」9.21～12.1、「LIFE Season2」12.7～2020.4.19</p> <p>○福西本店・斎藤清展 2.8～2.24</p> <p>(2) 県外斎藤清展推進事業</p> <p>○三良坂平和美術館 (広島県三次市、12.1～1.26、1.30～3.22) においてコレクターによる「斎藤清版画展」の開催協力。グッズ販売。</p> <p>○渋谷ヒカリエ (東京都渋谷区、10.29～11.4) において「斎藤清」展を開催</p> <p>○オリジナルグッズの館外販売 (東京都美術館、三良坂平和美術館、まるごとニッポン他)</p> <p>(3) 滞在的アートP事業、地域アートP事業</p> <p>○作家の美術館滞在による作品制作・公開：Pao HuiKao 氏 (制作 7月～8月、9月よりホールにて展示)</p> <p>○地域住民が気軽に参加できるトークイベント・講演会・ワークショップ (「館長講座」5月29日、7月28日、2月1日、「講演会 斎藤清の墨画 (講師：早川博明 福島県立美術館長)」10月5日、「ワークショップ 墨彩に挑戦! (講師：書家 樋口朝亭)」11月16日)</p> <p>○ミュージアムパーティー (「食べる! SUMI」10月13日)</p> <p>○ミュージアムカフェ (春 4月27日～5月5日※5月3日を除く 計8日間 秋 9月～11月の土日祝日 計23日間)。</p> <p>○筑波大学及び武蔵野美術大学との連携イベント (「一家に一枚プロジェクト」10月1日～12月1日、「やないづの家宝展」9月21日～12月1日、「会津柳津の食卓」10月29日～11月4日※於 渋谷ヒカリエ)</p> <p>○他館向け斎藤清展パッケージウェブサイト制作 (日本語、英語、中国語簡体字)</p> <p>○メディア芸術作品の制作 (筑波大学村上氏)</p> <p>(4) 作品等収集</p> <p>○郡山市在住のコレクターより斎藤清作品 (蔵書票) 5点及び関連資料 (手紙・書籍等) 31点の寄贈受け入れ</p>	
成果と評価	<p>(1) 入館者数 15,158人 (H30年度 17,165人、増減率 11.7%減)</p> <p>当初予定していた秋の企画展ができなかったこと、また2、3月は新型コロナウイルスの影響もあり、トールマンコレクション展等大型企画展を実施した平成30年度よりも2,007人の減少となった。</p> <p>一方、令和元年11月に入館者総数が60万人に達した。</p> <p>(2) 収入額 24,340千円 (H30年度 30,122千円、増減率 19.2%減)</p> <p>入館者数の減少にともない、平成30年度よりも入館料 (△1,799千円) 及びグッズ販売収入 (△3,983千円) が共に減少した。</p>	<p>達成度</p> <p>B</p>

	<p>(3) 渋谷ヒカリエや福西本店での展示やグッズ販売、他館での展覧会協力を行い、効果的にプロモーションを行った。また斎藤清展パッケージウェブサイトの公開により、他館での展覧会の開催が増えることが期待できる。</p> <p>(4) 来館者アンケートでは、企画展の内容や展示方法の他、関連ワークショップ、カフェやコンサートといった各事業についても評価を得ている。</p> <p>(5) 美術館の多様な価値を高めるため、筑波大学や武蔵野美術大学との連携事業を行うとともに、地域に根ざし、開かれた美術館を目指すため地域おこし協力隊による各事業を行った。</p>	
<p>次年度への課題</p>	<p>(1) 美術館を限られた財源で運営していくための方針の決定</p> <p>(2) 集客のための斎藤清ブランドの再構築</p> <p>○公式HPの内容充実と公式SNSであるfacebook、Instagramに加えYouTubeでの情報発信の強化・拡充</p> <p>○斎藤清展パッケージウェブサイトを活用した海外も含めた他館での展覧会の開催に向けたPR</p> <p>○他館からの作品借用のための消火設備の改修</p> <p>(3) 斎藤清アーカイブの継続的实施</p> <p>○作品の収蔵・研究・展示という美術館の基本サイクルの徹底</p> <p>○斎藤清を知る人からの情報収集</p>	

達成度 A～十分達成 B～ほぼ達成 C～やや不十分 D～不十分

⑤ [地域の伝統文化の継承と文化財の保存]

基本事業	4 文化財の保存と活用	
取組の状況	<p>(1) 柳津町文化財保護審議会の開催 ○文化財保護審議会の開催 (年2回)</p> <p>(2) 町指定文化財管理事業 ○町指定文化財 {14件 (県指定2件含む) 管理委託} ○国重文1件・国指定天然記念物1件・県指定4件(町指定2件含む) 計 18件 ○孫太郎マツのワイヤー支柱修繕</p> <p>(3) 天然記念物カモシカ処理事業 ○なし</p> <p>(4) 文化財火災防御訓練の実施 ○奥之院弁天堂、圓藏寺周辺での防御訓練 1/25 (日) *柳津町消防団・圓藏寺自衛消防隊合同防災訓練と同時開催 ○参加機関：広域消防柳津出張所、町消防団、奥之院、奥之院総代、圓藏寺、圓藏寺総代、圓藏寺自衛消防隊、文化財保護審議委員、町教育委員会</p>	
成果と課題	<p>○文化財保護審議会においては、長年の課題であった銀山抗煙突について協議し、関係団体と調整しながら民間と連携して保存活用に向けて動き出すこととなった。</p> <p>○また、石生前遺跡出土品については、平成26年度以来展示替えを行っておらず、入館者も激減している状況であるため、保存と活用に向けて対策をとる必要が生じている。 今年度は研修地を縄文の里づくりを実施している新潟県津南町を訪れ、縄文土器の活用に向けた研修を実施してきた。 次年度へ向けて具体的な計画を策定し、多くの方に見ていただける縄文館づくりを目指す。</p> <p>○文化財火災防御訓練により、伝統的建造物の保存や継承、更に防火体制の確立と意識の高揚が図られている。</p>	<p>達成度</p> <p>A</p>
次年度への課題	<p>○縄文館に展示している石生前遺跡出土品の有効活用</p> <p>○今後も、個人所有文化財並びに地区管理文化財の保存状態等の確認調査の実施。</p> <p>○軽井沢銀山跡煙突の保存に向けては、今後文化財保護審議会等を中心に協議するとともに、関係団体や町民の意見を考慮しながら保存、取り壊しに向けて決定したい。</p> <p>○文化財防御訓練は、今後も関係機関との連携を図り、文化財保護活動に努めていく。</p>	

IV 点検・評価に関する有識者の意見

IV 点検・評価に関する有識者の意見

1 点検・評価に関する有識者名簿

学識経験者の知見の活用については、以下の方を「点検・評価に関する有識者」に選任し、有識者の意見を頂きました。

佐藤 長八	柳津町文化協会長
二瓶 伸博	柳津町体育協会長
長谷川 富雄	柳津町人権擁護委員代表
荒木 南枝	柳津町主任児童委員
菊地 由枝	柳津町主任児童委員
新井田 雅人	柳津小学校PTA会長
山内 諦真	西山小学校PTA会長
武田 剛	会津柳津学園中学校PTA会長

2 点検・評価に関する有識者の意見

(1) 教育委員会の活動状況について

- ・学校教育、社会教育は人づくり、人間教育であり、様々な分野での活動、取組みに一生懸命携わっていただき、感謝と敬意を表します。今後共、新型コロナウイルス感染症に負けず頑張ってください。
- ・柳津の子供たちの健全な成長のため、日々業務に当たられている教育長はじめ、委員の皆様、事務局そして先生方に感謝申し上げます。
- ・「教育委員会」の活動内容がもっと多くの方に、そして身近に知っていただけるよう町広報誌、やないづ教育ねっと等での積極的な情報発信が必要と感じました。
- ・定例会、臨時会及び行事等一年間を通して、適時適正に行われていると思います。また、小人数である委員にもかかわらず、行事等へは多数参加いただいている事に感謝しています。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、今年度におきましては例年通りの活動内容とは異なる事が予想され、中止、変更等は避けられません。しかしながら、近隣町村との様子を踏まえた上、可能な限り行事、研修等を行っていただきたいと思えます。保護者の同意を得て、私達役員も学校と連携を図り慎重に検討いたします。
- ・「人」を育てるという最も重要な役割を担って努力している思いが感じられます。
- ・毎月の定例会において、各学校との連携がなされ、丁寧に学校運営や教育に携わっていただき感謝いたします。
- ・全般を通して適正な協議活動が、行われたと思います。特に小、中学校における

ICT環境整備の審議がされた事は良かったと思います。

- ・地球規模の環境変化により想定外の災害発生が考えられます。学校教育機関等ではその事について対策、対応は話し合われていますか。

(2) 教育委員会重点施策の点検・評価について

- ・令和2年度の事例になりますが、iPadの先駆的な整備により、新型コロナウイルスでの休校中もオンライン授業が導入され、少しでも子供たちの学習が進んだことは大変素晴らしいと思います。
- ・子供たちもまずiPadの操作から興味を持ち、学習アプリの問題を一問一問回答することで、学習への意欲が湧いてきていると感じます。小学校、中学校ともに整備されたICTを上手に授業に取り入れていただき、児童・生徒のさらなる学力向上を望みます。
- ・柳津小学校、西山小学校、会津柳津学園中学校、及び教育委員会において、適正な点検・評価であると判断します。
- ・一人一台タブレットPCが利用できる環境設定が整備されましたが、今回、新型コロナウイルスによる自粛期間中、オンライン授業が少しでも受けられればと思いました。各家庭による環境整備にばらつきがある事は知っていますが、町で環境整備を行っていただければと思います。柳津町に受験対策の学習塾があれば、学力向上につながるかと坂下、若松へ通う子供たちは何人かいますが、部活、スポ小のかね合いもあるので、地元であればと思います。
- ・達成度Bランクについて、Aランクと上げるための手法があれば、次年度の方向性をもっと見えてくるのではないのでしょうか？課題としてあげられている中で指導助言・支援といった物の具体案をもっと掘り下げられた表現ならば実現場での取組もやりやすいと思います。
- ・事業内容に対しての達成度は概ね高い評価とされます。
小中学校で、ICT整備事業が成され活用できた事は意義あると思います。文化財の保存においては、石生前遺跡の存在価値をもっとPRして広く知ってもらい、町民や学生にも貴重な出土品であることを理解し、興味をもってもらいような方向づけがあると良いと思います。
- ・柳津町には、いじめ等の悪質な事案は無いと思いますが、子供たちの生活態度を良く観察して、心身共に健全な成長を計れるよう願っています。それには、柳津町の特性を生かした冬場の活動の場のあり方を考えて頂きたい。屋外での活動の場が欲しいです。
- ・子供たちが町を訪れる活動には、町にある文化財等自然を含め、よく見てもらい、柳津町に生まれて良かったと思える取り組みをお願いします。

《資 料》

令和元年度 柳津町教育委員会の点検・評価の概要

柳津町教育委員会は、要綱に基づき、令和元年度の教育委員会に属する事務の管理及び執行状況について、次のとおり点検・評価を行います。

(1) 点検・評価の対象(項目)

「柳津町教育委員会の活動状況」及び「柳津町教育委員会の重点施策」

① 柳津町教育委員会の活動状況

柳津町教育委員会の開催及び審議状況、教育委員の主な活動、教育委員会の情報発信等

② 柳津町教育委員会の重点施策

令和元年度柳津町教育委員会重点施策について、「取組の状況」「成果と評価」「次年度への課題」の視点から、それぞれ点検・評価を実施する。

※「達成度」については、重点施策ごとに、A(十分に達成)、B(ほぼ達成)、C(やや不十分)、D(不十分)の4段階で評定

(2) 学識経験者の知見の活用

柳津町小中学校保護者を含む教育関係者等、教育に関し知見を有する方から、柳津町教育委員会の内部評価について、個々人から意見をいただく。

※令和元年度の点検評価学識経験者

・町文化協会長・体育協会長・人権擁護委員代表・主任児童委員代表・町内各小中学校PTA会長

(3) 点検・評価の経緯

柳津町教育委員会では、次の手順で点検・評価を実施する

① 各学校での内部評価 (3月)

○重点施策「生きる力を育む学校教育の充実」を中心に

② 教育委員会の内部評価 (4月～5月)

○教育委員会の活動状況のまとめと評価(学校教育班)

○事務事業の取組(進捗)状況のまとめと評価(各班)

○事務事業の評価に基づく重点施策の評価(学校教育班)

③ 学識経験者からの意見聴取 (6月～7月)

④ 点検・評価についての審議及び決議 (8月教育委員会)

⑤ 点検・評価報告書を柳津町議会へ提出 (9月議会全員協議会)

⑥ 柳津町広報誌、柳津町ホームページ等で町民への公表 (9月～)

柳津町教育委員会事務管理及び執行状況の点検・評価実施要綱

柳津町教育委員会

(目的)

第1条 この要綱は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和36年法律第162号。以下「法」という。）第27条の規定に基づき、柳津町教育委員会（以下「教育委員会」という。）が実施する教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価について必要な事項を定めるものとする。

(点検及び評価の対象)

第2条 点検・評価の対象は、教育委員会の活動状況及び教育委員会が定める重点施策とする。

(点検及び評価の期間)

第3条 点検・評価は、当該年度の前項に規定する事項について行うものとする。

(資料の整理等)

第4条 点検及び評価に資するため、事務局（法第18条に規定する事務局をいう。以下同じ。）は、第2条に規定する事項について必要な書類を整理する。

(点検及び評価)

第5条 点検及び評価は、前条に規定する資料に基づき、学識経験者の意見を聴取した上で教育委員会において行う。

(点検・評価に関する有識者)

第6条 教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るため、「点検・評価に関する有識者」を置く。

2 点検・評価に関する有識者は、小中学校保護者及び教育関係者等、教育に関し知見を有するものの中から教育委員会が選任する。

(議会への報告等)

第7条 教育委員会は、当該年度の点検及び評価を行った後、その結果をまとめた報告書を作成し、これを柳津町議会へ提出するとともに公表する。

(庶務)

第8条 点検及び評価の実施に関する庶務は、教育課学校教育班において行う。

(委任)

第9条 この要綱に定めるもののほか、必要事項は別に定める。

附 則

この要綱は、平成21年2月27日から施行する。

